

社会福祉学部

スポーツ健康福祉学科

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
スポ	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
スポ	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
スポ	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
スポ	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			
スポ	学部等共通科目	キャリア教育	1		2		
スポ	学部等共通科目	コミュニケーション論	1		2		
スポ	学部等共通科目	基礎統計学	2		2		
単位数 合計					14		

臨床福祉学科

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
臨福	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
臨福	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
臨福	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
臨福	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			
臨福	学部等共通科目	キャリア教育	1		2		
臨福	学部等共通科目	コミュニケーション論	1		2		
臨福	学部等共通科目	基礎統計学	2		2		
単位数 合計					14		

保健科学部

作業療法学科 (令和2年度より募集停止)

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
作業	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
作業	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
作業	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
作業	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			※シラバス記載なし
作業	学部等共通科目	社会学	1		2		
作業	専門	人間・運動発達学	2	2			
作業	専門	作業療法研究法	3	1			
単位数 合計					13		

言語聴覚療法学 (令和2年度より募集停止)

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
言語	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
言語	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
言語	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
言語	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			※シラバス記載なし
言語	学部等共通科目	社会学	1		2		
言語	専門	精神医学	3	2			
言語	専門	耳鼻咽喉科学	2	2			
単位数 合計					14		

視機能療法学 (令和元年度より募集停止)

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
視機能	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
視機能	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
視機能	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		※シラバス記載なし
視機能	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			※シラバス記載なし
視機能	学部等共通科目	社会学	1		2		※シラバス記載なし
視機能	専門	視能学総合演習Ⅱ	4	4			
単位数 合計					14		

臨床工学科 (令和2年度より募集停止)

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
臨工	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
臨工	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
臨工	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
臨工	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			※シラバス記載なし
臨工	学部等共通科目	社会学	1		2		
臨工	専門	看護学概論	3	2			
臨工	専門	画像診断学	3		2		
単位数 合計					14		

薬学部

薬学科

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
薬	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
薬	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
薬	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
薬	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			
薬	学部等共通科目	キャリア教育	1	2			
薬	学部等共通科目	コミュニケーション論	1	2			
薬	学部等共通科目	外書講読Ⅲ	3	1			
薬	学部等共通科目	薬学入門	1	1			
薬	学部等共通科目	物理学Ⅰ	1	1			
薬	学部等共通科目	物理学Ⅱ	1		1		
薬	学部等共通科目	生物学	1	1			
薬	学部等共通科目	薬学数学	1	1			
薬	専門科目	一般用医薬品学演習	5		1		
単位数 合計					19		

動物生命薬科学科

学科・専攻	実務経験のある教員等による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
動物生命	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
動物生命	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
動物生命	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
動物生命	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1		2		
動物生命	学部等共通科目	キャリア教育	1	2			
動物生命	学部等共通科目	社会学	1		2		
動物生命	学部等共通科目	コミュニケーション論	1		2		
単位数 合計					14		

生命医科学部

生命医科学科

学科・専攻	実務経験のある教員等 による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
生命医科	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
生命医科	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
生命医科	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
生命医科	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			
生命医科	全学共通科目	キャリア教育	2		2		
生命医科	学部等共通科目	英語コミュニケーション	2		2		
生命医科	学部等共通科目	分子生物学	1		2		
単位数 合計				14			

臨床心理学部

臨床心理学科

学科・専攻	実務経験のある教員等 による授業科目	科目名	開講年	必修	選択	自由	備考
臨床心理	全学共通科目	国際保健福祉論	2		2		
臨床心理	全学共通科目	日向国地域論	1		2		
臨床心理	全学共通科目	ボランティア活動	1		2		
臨床心理	全学共通科目	QOLと人間の尊厳	1	2			
臨床心理	全学共通科目	キャリア教育	2		2		
臨床心理	全学共通科目	コミュニケーション論	1		2		
臨床心理	学部等共通科目	社会学	1		2		
単位数 合計				14			

通信教育部

社会福祉学部 臨床福祉学科

学科・専攻	実務経験のある教員等 による授業科目	科目名	開講年	単位数	授業形態	備考
通信教育部 社会福祉学部	専門教育科目	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	T	T:テキスト科目
通信教育部 社会福祉学部	専門教育科目	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2	T	S:スクーリング科目
通信教育部 社会福祉学部	専門教育科目	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	T	M:メディア科目
通信教育部 社会福祉学部	専門教育科目	地域福祉の理論と方法	2	4	T	TS:テキスト・スクーリング科目
通信教育部 社会福祉学部	専門教育科目	高齢者に対する支援と介護保険制度	2	4	T	
単位数 合計				14		

科目名	国際保健福祉論		授業コード	110070B401	単位数	2	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(2年)		時間数	30	AL科目		
担当者	日田 剛	開講学期	2021年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>本学の学則第1条に「本学は(中略)国際化社会に向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。この目標実現に資するために大学共通科目として本講義が設定されている。この講義は本学が持つ学部・学科の教員がそれぞれの専門分野から保健、及び福祉に関する講義を行う形式をとる。さらに、海外で長年国際保健に取り組んできた非常勤講師からも、世界の保健状況についての情報を得ることができ、学生諸君は授業を通して保健福祉に関する多角的な視点が持てるようになる。</p>						
到達目標(SBOs)	<p>1)健康の定義、福祉の定義を説明できる。 2)薬学部、保健科学部、社会福祉学部のそれぞれの視点から国内外の保健と福祉の関係を説明することができる。 3)世界の小児保健の状況について述べるができる。 4)世界の主要な感染症について現状と対策が説明できる。</p>						
実務経験のある教員による教育	<p>医師としての経験を有し、海外で長年にわたって保健医療協力活動(JICA 専門家等)を重ねてきた実務経験者を、非常勤講師として招聘している。</p>						
評価方法	<p>各回の授業で小レポートを課し、理解度合いをチェックする。学習への取り組み姿勢(小レポートの質、質問などによる授業への参加など)を20%、全講義終了後に提出する最終課題レポート80%で単位判定を行う。</p>						
準備学習・履修上の注意等	<p>本講義はオムニバスで行われるので、事前準備は難しい。したがって授業中に適切にノートを取り、配布資料やインターネットなどをを用いて十分に復習することが肝要である。</p>						
オフィスアワー	<p>水・木・金曜日 12:30 から 13:00 まで</p>						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	国際保健福祉とは(イントロダクション)	講 義	稲 田 日 田
2	2)	薬学と国際保健福祉	講 義	黒 川
3	2)	リハビリテーションと国際保健福祉	講 義	立 石
4	2)	臨床工学と国際保健福祉	講 義	竹 澤
5	2)	臨床検査医学的見地から見た国際保健福祉	講 義	清 水(慶)
6	2)	人獣共通感染症と国際保健福祉	講 義	明 石
7	2)	鍼灸と国際保健福祉	講 義	渡 邊
8	3)	アフリカの保健状況	講 義	嶋 田
9	4)	感染症と寄生虫病	講 義	嶋 田
10	4)	世界から忘れ去られた熱帯病	講 義	嶋 田
11	4)	アフリカの熱帯病と対策	講 義	嶋 田
12	4)	貧困と病気 - PHC から SDGs へ	講 義	嶋 田
13	2)	世界の高齢者の保健福祉	講 義	清 水
14	2)	世界の精神保健福祉	講 義	黒 須
15	2)	世界の子供の保健福祉	講 義	日 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない。必要に応じて資料を提供する。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない。

科目名	日向国地域論		授業コード	110125B401	単位数	2	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)		時間数	30	AL科目		
担当者	横山 裕	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般目標(GIO)	九州保健福祉大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義を通してこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するための推進力を身につけることを目標とする。						
到達目標(SBOs)	1)地域の歴史や文化について説明できる。 2)地域に期待される大学像を知る。 3)地域における男女の生き方について説明できる。 4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。 5)地域における一次産業とその文化について説明できる。 6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。 7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。 8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。 9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。						
実務経験のある教員による教育	行政、観光、まちづくりなど多方面にわたって地域における実務経験を有する講師を招聘している。						
評価方法	毎講義後に提出物(小レポート)を課し、その評価(100%)によって行う。						
準備学習・履修上の注意等	外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。				講 義	横 山
2	1)	宮崎県北部地域の文化財及びその保護活動について理解し、歴史と文化との関係性を理解する。				講 義	横山・外部講師
3	2)	県北地域に芸術活動の現状を理解し、地域と世界の芸術交流の未来のあり方を理解する。				講 義	横山・外部講師
4	4)	県北地区の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。				講 義	横山・外部講師
5	5)	県北地域の第三次産業の現状を理解し、商業と街づくり・人づくりの関係について理解する。				講 義	横山・外部講師
6	6)	県北の自然の魅力を知り、自然を生かしたまちづくりの現状を理解する。				講 義	横山・外部講師
7	7)	県北地域の税金をとりまく現状を理解し、これからの正しい納税者のあり方を身につける。				講 義	横山・外部講師
8	7)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。				講 義	横山・外部講師
9	1)6)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのか理解する。				講 義	横山・外部講師
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。				講 義	横山・外部講師
11	8)	県北地域における観光資源の発掘、観光地環境整備、地元プロモーション活動の現状を知り、県北地区の観光の可能性について理解する。				講 義	横山・外部講師
12	1)	宮崎県北部地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。				講 義	横山・外部講師
13	3)	県北地域の自然環境と暮らしとの関係を知り、これからの環境保護活動について理解する。				講 義	横山・外部講師
14	1)	県北地域で行われている新能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。				講 義	横山・外部講師
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名	ボランティア活動			授業コード	110151B401	単位数	2
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)			時間数	30	AL科目	○
担当者	山崎 睦男	開講学期	2021年度 前期～後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習及び
授業の概要・一般目標(GIO)	今日、地域社会においては「地域共生社会」の在り方が問われており、私たちは社会の構成員として、フォーマルなものからインフォーマルなものまで、様々な領域や場面で社会活動に参加し、貢献する役割が求められている。ボランティア活動は、私たち一人ひとりが身近なことから社会的課題を考えて主体的に取り組む社会参加活動である。この授業では、ボランティア学習をととして、地域社会に貢献する心を育み、身近な生活の課題や地域社会問題の理解と社会への参加を目指す。授業は、講義と演習及びボランティア実践活動を中心に進められる。実践活動報告書の評価や中間における自己評価、授業最終日にまとめた評価を行う。						
到達目標(SBOs)	1) ボランティア活動の意義と意味について理解し、説明することができる。 2) 受け入れ先の施設・団体の社会的な役割や多世代の価値観を理解することができる。 3) 個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に、主体的かつ計画的に参加することができる。 4) 対人援助の基礎として、身近な生活課題や地域社会問題を理解し、各領域における実践を念頭に置きながら活動することができる。 5) 社会的マナーを理解し、契約(約束)を守ることができる。 6) ボランティア体験を他者と共有するための演習等に積極的に参加し、他者の意見に耳を傾け、自分の思いを言語化することができる。 7) 受け入れ先の施設・団体の目的を理解し、大学生ボランティアとしての役割について考察し、ボランティア体験で得た学びを、他者と共有することを通して、学習を深化させることができる。 8) 報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく、正確に書くことができる。 9) 個々の体験から得たものを言語化し、報告会にて発表することができる。 10) 薬学教育モデル、コアカリキュラムとの対応ができる。						
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、地域福祉の実践現場や学校の音楽教育、地域貢献活動等での5年以上の実務経験に基づき、「ボランティア活動」の習得を目的とした授業と実践指導を行う予定。また、外部講師として、ボランティア要請団体、ボランティアコーディネーター等の実践者を招く予定。						
評価方法	授業後における小レポートと演習及び学習への取り組み姿勢(レポート等の提出状況、授業態度)の評価を30%、活動内容及び報告書を70%にし、包括的に評価する。						
準備学習・履修上の注意等	最初の3コマはオリエンテーション、ボランティア活動を行うための心得や社会的マナーなどの指導、ボランティアコーディネーター実践者からの講話、記録についてなどを事前学習として、座学で学ぶ。その後5月から翌年1月末までの間で10回程度のボランティアを実践し報告書を作成する。ボランティアを行う事については内容や団体などに一定の基準を設ける。ボランティアを実施する場合は大学が認定したものに限る。年間を通して、活動実践の報告、振り返り、評価のための授業(演習)を3回程度、実施する。また、後期の最後に到達目標に関する試験を実施する。受講者はボランティア保険に加入すること。						
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する						
授業計画							
回数	SBOs No.	授業内容				授業方法	担当
1	1) 2)3)10)	【4月:事前学習①】1,オリエンテーション ①授業目標、意義、年間授業計画について理解する ②活動方法、手続きについて理解する ③授業評価、単位認定方法について理解する ④ボランティア活動のルールとマナーについて理解する・窓口、ボランティア掲示板、学生連絡先の確認、自己紹介書の提出について 2,講義「今日におけるボランティアの意義」について理解する				講義	担当教員
2	1)2)3)10)	【4月:事前学習②】1,講義と演習 ①ボランティア活動とボランティア保険についてについて理解し、加入する。②年間ボランティア活動計画の策定について理解し、作成する。③活動報告書の意義と書き方について理解し、書くことができる。 ④ボランティア活動実践に向けての心得について理解する				講義・演習	鶴根 博樹
3	1)2)3)10)	【4月:事前学習③】1,講義 ボランティア活動の実践事例を通して、ボランティアの内容を具体的に理解する。				講義	鶴根 博樹
4	3)4)5)8)10)	【5月】ボランティア活動実践 5月から1月までに、10回のボランティア活動を実践する。掲示板に紹介するボランティアから、個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に参加し、活動報告書に記録を書く。活動報告書は教員の添削を受ける。				実践	担当教員
5	3)4)5)8)10)	【6月】ボランティア活動実践				実践	担当教員
6	3)4)5)8)10)	【7月】ボランティア活動実践				実践	担当教員
7	6)7)9)10)	【7月:振り返り】1,講話(先輩に聞く) ボランティア活動の意義と実践について 2,演習 前期の実践について評価し、レポートを書く				講話・演習	担当教員
8	3)4)5)8)10)	【8月】ボランティア活動実践				実践	担当教員
9	3)4)5)8)10)	【9月】ボランティア活動実践				実践	担当教員
10	6)7)9)10)	【9月:活動報告と評価】1,活動報告① 計画を達成した学生から聞く 2,演習(実践の評価) 前期及び夏休みの実践について振り返る ①これまでの活動の自己評価をする ②達成した学生から得たものは何かレポートを書く。 ③今後の計画の見直しをする。				演習	担当教員
11	3)4)5)8)10)	【10月】ボランティア活動実践				実践	担当教員
12	3)4)5)8)10)	【11月】ボランティア活動実践				実践	担当教員
13	1)6)7)10)	【11月:講義と評価】1,講義 地域貢献とボランティア活動 2,演習(実践の評価) これまでの実践について振り返る ①これまでの活動の自己評価をする ②達成した学生から得たものは何かレポートを書く。				講義・演習	鶴根 博樹
14	3)4)5)8)10)	【12月】 ボランティア活動実践				実践	担当教員
15	3)4)5)8)10)6)7)9)10)	【1月】ボランティア活動実践【活動報告と最終評価】1,活動報告 ③ 計画を達成した学生から聞く 2,演習(実践の最終評価) ①実践の根拠を持った評価をする。 ②ボランティア活動の意義について考える。(レポート)				演習	担当教員
教科書(著者名)出版社名[ISBN]		講義時に配布するプリントなどを使用する。					
参考書(著者名)出版社名[ISBN]		講義時に配布するプリントなどを使用する。					

科目名	QOLと人間の尊厳			授業コード	110181B301	単位数	2
配当学科(学年)	薬学科(1年)			時間数	15	AL科目	○
担当者	鳥取部 直子	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義 SGD
授業の概要・ 一般目標(GIO)	<p>QOLと人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。</p> <p>病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ることが、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活における quality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する。</p> <p>「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか？例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する。</p>						
到達目標 (SBOs)	<p>1)QOLの言葉の意味を説明できる。</p> <p>2)人生や生活における「質」について説明できる。</p> <p>3)医療・福祉の担い手として、社会のニーズに常に目を向け、その概要と問題点を説明できる。</p> <p>4)医療・福祉の担い手として、ふさわしい態度を示す。</p> <p>5)自らの体験を通して、QOLや人間の尊厳の重要性を考える。</p> <p>6)人の誕生、成長、加齢、死の意味を概説できる。</p> <p>7)医療・福祉に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。</p> <p>8)自らの体験を通して、生命の尊さについて討議する。</p> <p>薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応:A(1)【①医療人として】1-7【②薬剤師が果たすべき役割】7【③患者の安全と薬害の防止】6</p>						
実務経験のある 教員による教育	<p>医療・福祉領域におけるQOLの重要性や人間の尊厳の概念をさらに詳細に学習するため、科目担当者の実践経験に基づいた授業を一部展開する予定である。</p> <p>※外部講師として、臨床現場で活躍している方を招く予定。</p>						
評価方法	<p>授業終了後に提出するレポート(90%)、学習への取り組み姿勢(レポートの提出、返却物の受け取り、質問・発言など授業への参加)、特に SGD 後の学生発表(10%)として単位認定を行う。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>授業内容の項目について、各自、その内容について予習し、自分なりの考えをまとめておくこと。返却されたレポートを用い、学習内容のまとめを作成して復習すること。SGD では自分の考えを述べ、他人の意見を聞き入れること。授業の順番は入れ替わることがある。</p>						
オフィスアワー	<p>(鳥取部)月・金曜日 9:00~12:00 研究室:M503 (白崎)月・金曜日 17:00~18:00 研究室:M402 (山本)月曜~金曜日 8:15~8:45 研究室:M504</p>						
授業計画							
回数	SBOs No.	授業内容				授業方法	担当
1	4)7)	性の違いから人間関係を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
2	1)2)4)7)	障害を人間の尊厳とQOLから考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
3	4)	人間の尊厳を保つための仕事を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
4	3)4)7)	人間が尊厳を持って生きることを考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
5	1)2)3)4)6)	人間の尊厳とQOLから認知症を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
6	1)2)3)4)6)7)8)	医療における QOL と人間の尊厳を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
7	1)2)3)7)	QOLと女性たちの貧困を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
8	1)2)3)4)6)	QOLと生きがいのある人生を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
9	2)	人間の尊厳と教育を考える ~建学の理念からの考察~(理事長講和)				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
10	3)4)6)7)	立場の違いから人間の尊厳を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
11	2)3)4)	共に支えあう人間の尊厳を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
12	3)8)	人間の尊厳を保つために必要な自己コントロールを考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
13	2)6)	人間の尊厳と人の死を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
14	1)2)3)5)	薬剤師としてQOLを考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
15	3)5)6)7)8)	薬剤師として人間の尊厳を考える				講義 SGD	鳥取部・白崎・山本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。					

科目名	QOLと人間の尊厳			授業コード	110181B401	単位数	2
配当学科(学年)	社会福祉学部・臨床心理学部(1年)			時間数	30	AL科目	『O』
担当者	池脇 信直	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>QOLと人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気が障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ることが、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。</p> <p>「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活における quality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する。</p> <p>「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか？例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する。</p> <p>授業は QOL と人間の尊厳に関するトピック(話題)をスモールグループディスカッション(SGD)方式で進める。また、本授業に関連したミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う。</p>						
到達目標(SBOs)	<p>1)教育や学びから人生や生活における「質」と「人間の尊厳」を理解し説明できる。</p> <p>2)QOL の言葉の意味を理解し説明できる。</p> <p>3)QOL と健康・疾病・障がいとの関連性を理解し説明できる。</p> <p>4)QOL と公衆衛生活動との関連性を理解し説明できる。</p> <p>5)人間の尊厳と社会との関連性を理解し説明できる。</p> <p>6)人間の尊厳と自分の轍(わだち)・キャリア・人生・希望との関連性を理解し説明できる。</p>						
実務経験のある教員による教育	科目担当者である池脇信直は大学病院等で 10 年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。						
評価方法	受講態度・講義中に行うディスカッション・毎回の講義後のレポート提出によって評価する。すなわち、毎回の授業終了後に理解度テスト(レポート課題)を行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD 及び AL 型授業において、学習への取組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を 50%、学期末の定期試験を 50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。						
準備学習・履修上の注意	授業は主に「QOLと人間の尊厳」に関わる課題を提供すると共に、その課題を SGD 及び AL 型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計 29 時間の自己学習を行うこと。すなわち、1 回の授業につき 4 時間以上を目安に予習と復習を行うこと。授業内容の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。						
オフィスアワー	毎週月曜日～金曜日:12:20～13:00						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	人間の尊厳と教育を考える ～建学の理念からの考察～(理事長&専務理事講和)	講義・SGD	池脇
2	2)	QOL の意味について考える①	講義・SGD	池脇
3	2)	QOL の意味について考える②	講義・SGD	池脇
4	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える①	講義・SGD	池脇
5	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える②	講義・SGD	池脇
6	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える③	講義・SGD	池脇
7	4)	QOL と公衆衛生活動を考える①	講義・SGD	池脇
8	4)	QOL と公衆衛生活動を考える②	講義・SGD	池脇
9	5)	人間の尊厳と社会の仕組みを考える	講義・SGD	池脇
10	5)	人間の尊厳と社会が求めていることを考える	講義・SGD	池脇
11	6)	人間の尊厳と自分の轍(わだち)を考える	講義・SGD	池脇
12	6)	人間の尊厳と人生を考える	講義・SGD	池脇
13	6)	人間の尊厳と AI 時代を考える	講義・SGD	池脇
14	6)	人間の尊厳と希望を考える	講義・SGD	池脇
15	1)2)3) 4)5)6))	まとめ	講義・SGD	池脇

教科書(著者名)出版社名【ISBN】

使用しません。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

資料(プリント)を配付します。

科目名	QOLと人間の尊厳		授業コード	110181B402	単位数	2	
配当学科(学年)	生命医科学部・動物生命薬科学科(1年)		時間数	30	AL科目	『O』	
担当者	池脇 信直	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	必修 動物生命薬科学科は選択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・ 一般目標(GIO)	<p>QOLと人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気が障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ること、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。</p> <p>「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活における quality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する。</p> <p>「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか？例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する。</p> <p>授業は QOL と人間の尊厳に関するトピック(話題)をスモールグループディスカッション(SGD)方式で進める。また、本授業に関連したミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う。</p>						
到達目標 (SBOs)	<p>1)教育や学びから人生や生活における「質」と「人間の尊厳」を理解し説明できる。</p> <p>2)QOL の言葉の意味を理解し説明できる。</p> <p>3)QOL と健康・疾病・障がいとの関連性を理解し説明できる。</p> <p>4)QOL と公衆衛生活動との関連性を理解し説明できる。</p> <p>5)人間の尊厳と社会との関連性を理解し説明できる。</p> <p>6)人間の尊厳と自分の轍(わだち)・キャリア・人生・希望との関連性を理解し説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者である池脇信直は大学病院等で 10 年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。						
評価方法	受講態度・講義中に行うディスカッション・毎回の講義後のレポート提出によって評価する。すなわち、毎回の授業終了後に理解度テスト(レポート課題)を行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD 及び AL 型授業において、学習への取組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を 50%、学期末の定期試験を 50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業は主に「QOLと人間の尊厳」に関わる課題を提供すると共に、その課題を SGD 及び AL 型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計 29 時間の自己学習を行うこと。すなわち、1 回の授業につき 4 時間以上を目安に予習と復習を行うこと。授業内容の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。						
オフィスアワー	毎週月曜日～金曜日:12:20～13:00						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	人間の尊厳と教育を考える ～建学の理念からの考察～(理事長&専務理事講和)	講義・SGD	池 脇
2	2)	QOL の意味について考える①	講義・SGD	池 脇
3	2)	QOL の意味について考える②	講義・SGD	池 脇
4	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える①	講義・SGD	池 脇
5	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える②	講義・SGD	池 脇
6	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える③	講義・SGD	池 脇
7	4)	QOL と公衆衛生活動を考える①	講義・SGD	池 脇
8	4)	QOL と公衆衛生活動を考える②	講義・SGD	池 脇
9	5)	人間の尊厳と社会の仕組みを考える	講義・SGD	池 脇
10	5)	人間の尊厳と社会が求めていることを考える	講義・SGD	池 脇
11	6)	人間の尊厳と自分の轍(わだち)を考える	講義・SGD	池 脇
12	6)	人間の尊厳と人生を考える	講義・SGD	池 脇
13	6)	人間の尊厳と AI 時代を考える	講義・SGD	池 脇
14	6)	人間の尊厳と希望を考える	講義・SGD	池 脇
15	1)2)3) 4)5)6))	まとめ	講義・SGD	池 脇

教科書(著者名)出版社名【ISBN】

使用しません。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

資料(プリント)を配付します。

科目名	キャリア教育		授業コード	110005B101	単位数	2	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1年)		時間数	30	AL科目	○	
担当者	日田 剛	開講学期	2021年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・ 一般目標(GIO)	<p>激動する社会の中で生き抜くためには、自らを社会に開く必要がある。それは社会において何が求められているのかを知ること同時に、仕事を取り巻く環境がどのような仕組みになっているのかを理解する必要がある。学生には早期に将来の自分像を描き、大学で何を学び、学生生活をいかに送るかを考えることが求められる。</p> <p>本科目は、自らのキャリア形成にどのような知識、技術が必要なのか、また仕事をやりがいのあるものとするためにどのような知識が必要かを理解するとともに、そのキャリアを具体的にしていくことを目的とする。</p>						
到達目標 (SBOs)	<p>1)科目のねらい、意義が理解できる。 2)現在の社会情勢を身近な問題から、広い視点での問題まで理解できる。 3)「社会人基礎力」が求められる意図を理解する。 4)自分自身を知ること、目指すべき将来像を考えることができる。 5)経済の仕組みについて基本的な理解を進める。 6)働くうえで必要な社会保障や労働基準法について理解を深める。 7)グループでのディスカッションを通じて問題解決について考えられる。 8)仕事を含めた自らのキャリアを考えることができる。 9)キャリアについて具体的にイメージできる。 10)社会に潜在している問題を把握することができる。 11)卒業生面談会に向けて、何を学ぶか目標を明確にできる。 12)卒業生面談会で得た学びを、今後の生活に活かすために体系化できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	外部講師として福祉現場で働く卒業生、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー等を招く予定である。						
評価方法	定期的なレポートと最終確認レポート、出席状況や提出物で総合的に評価。レポート10点×5回(50点) 出席、提出物(20点)、最終確認レポート(30点)として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内で行ったSGDについて振り返りを行うこと。授業中に配布した資料は保管しておくこと。外部講師に失礼な態度をとらないこと。						
オフィスアワー	平日13時～17時						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当		
1	1)	この科目を学習する目的を考える。	講 義	日 田		
2	2)	自分を取り巻く社会環境を理解する。	講 義	日 田		
3	3)	社会人基礎力がどのように構成されているのか具体的に把握する。	講 義	日 田		
4	3)	社会人基礎力について、それがなぜ必要なのかを客観的に理解する。	講義・演習	日 田		
5	4)	自己理解、他者理解について学ぶ。	講義・演習	外部講師		
6	5)	自らのキャリア形成について考える。	講 義	外部講師		
7	5)6)	仕事するうえで必要な環境について考える。	講 義	外部講師		
8	7)	自らの生活にどれだけのお金が必要なのかを考える。	講義・演習	日 田		
9	8)	大まかな人生の展望から、具体的な必要経費を算出する。	演 習	日田・外部講師		
10	9)	仕事を行う上で、障壁となる問題について考える。	講義・演習	日 田		
11	9)	工作上、障壁となる社会問題をどう対処する必要があるかを考える。	講義・演習	日 田		
12	10)	卒業生講演会を通して、個人で得た学びを整理する。	講義・演習	日 田		
13	11)	卒業生講演会での学び文書化してまとめる。	講 義	外部講師		
14	11)	自らのキャリアデザインを視覚化する。	講義・演習	日 田		
15	12)	自らのキャリアデザインについてグループ内で発表する。	講義・演習	日 田		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない				

科目名	キャリア教育		授業コード	110005B301	単位数	2	
配当学科(学年)	薬学科(1年)		時間数	30	AL科目	○	
担当者	鳥取部 直子	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習・見学
授業の概要・一般目標(GIO)	キャリア教育は、自分に適性のある職業を選択して社会で活躍できる薬剤師になるために、薬剤師の職能に関する正しい知識を修得することを目的とする。薬学生として学習に対するモチベーションを高め、社会における薬学の位置づけを理解し、医療人としての道徳と倫理観を学ぶために、薬学出身者から職場での実体験を聞き、職場(病院、保険薬局、薬品工場、医薬品卸、官公庁など)を見学する。本授業における講義や演習、見学および体験を通して共感的な態度や能動的な学習態度を身に付ける。						
到達目標(SBOs)	1)社会に出て働くことの意義を説明できる。 2)薬剤師の活動分野について概説できる。 3)医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。 4)医薬品の情報管理における薬剤師の役割について概説できる。 5)疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。 6)医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。 7)医療の担い手にふさわしい態度を示す。 8)「キャリア」および「キャリアデザイン」の重要性について概説できる。 9)自分の長所・適正に鑑みて、自分に向いていると思う職業を、理由を付けて論述できる。 10)社会人としての挨拶、礼儀作法を実践できる。 11)医療人としての接遇、マナーや言葉づかいの重要性を感じる。 12)シミュレーションによる電話応対を体験し、自己紹介や情報伝達・確認を実践できる。 13)薬学出身者の業務を見聞し、その役割について説明できる。 14)薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その役割について説明できる。 15)施設で見聞した内容に基づいて、各施設における薬剤師の仕事や役割について意見を述べるができる。 16)薬剤師のあるべき役割と将来像について、具体的に考えを述べるができる。 薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応:A 基本事項 (1) ①-6, ②-1, 2, 3, 6, (3) ①-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, (4)-3, 5, B 薬学と社会 (4) ①-1, 2, 3, 4, ②-2, 3, F 薬学臨床 (1) ①-2						
実務経験のある教員による教育	科目担当者(鈴木、日高)は、大学病院での5年以上の実務経験に基づいて、薬学生としての自覚、学習に対する意欲を高めることを目的に、早期臨床体験学習に対する事前学習と引率を行う。 ※外部講師として、臨床現場で活躍している方を招く予定。						
評価方法	以下の[1]、[2]を点数化して、合計点で単位認定を行う。 [1]第1回～7回授業:課題レポート(40点)+態度(10点)で評価する。 [2]第8回～15回授業:外部講師による講義後および施設見学のレポート(40点)+態度(10点)で評価する。 態度・・・授業への積極的な態度(質疑応答時、挙手による発言や質問など)。						
準備学習・履修上の注意等	注意 ・本授業における講義・演習は医療施設等を見学するための事前学習であるので、授業すべてに出席することを単位修得の要件とする。 ・施設の見学は夏休みの指定された日時に行う。 ・見学施設で迷惑行為が生じた場合、単位修得ができないことがある。 ・他人に不快感を与えるような身だしなみや態度は厳禁である。 ・レポート提出は課題ごとに締切日および提出方法(パソコンで電子ファイルを送信・提出することもある)を指示する。 授業前の準備と授業後のまとめ ・教科書を必ず読んでおくこと(第2～7回授業:レポート作成に必須である)。 ・施設見学を行う前準備として、インターネットを利用して各施設のHPで施設の特徴や概要を調べること。 ・授業によって修得できたこと、見学を通じて修得できたことを、レポートにまとめること。 以上を授業前後、週末および長期休暇期間の計15時間を使って行うこと。						
オフィスアワー	(鈴木)月・金曜日 16:00～18:00 研究室:M410 (日高)月・金曜日 16:00～18:00 研究室:M412 (鳥取部)月・金曜日 9:00～12:00 研究室:M503						
授業計画							
回数	SBOsNo	授業内容				授業方法	担当
1	1)	講義概要説明 仕事とは?働くとは?なぜ働くのですか?				講義	鳥取部・鈴木
2	1)2)9)	自分夢のこと、自分自身について				講義	鳥取部
3	1)2)8)9)	キャリアとは何か				講義	鳥取部
4	1)2)3)4)5)	薬剤師は社会の中でどんな事ができますか?				講義	鳥取部
5	2)3)6)	病院薬剤師の業務とは?				講義	鳥取部・外部講師
6	2)5)7)	調剤薬局薬剤師の業務とは?				講義	鳥取部・外部講師
7	1)2)8)9)	自分のキャリアをどう考えるか				講義	鳥取部・外部講師
8	2)6)10)	早期体験学習ガイダンス・学習の心構え				講義	鈴木・日高
9	10)11)	医療施設見学・体験時のマナー				講義	鈴木・日高
10	1)2)3)4)5)6)	見学施設紹介及び見学施設の振り分けの説明				講義	鈴木・日高
11	13)15)16)	職場での実体験を聞いて感じる				講義・演習	鈴木・日高・外部講師
12	10)11)12)16)	社会におけるマナーを実践して、電話応対の重要性を感じ取ろう(1)				講義・演習	鈴木・日高・外部講師
13	10)11)12)16)	社会におけるマナーを実践して、電話応対の重要性を感じ取ろう(2)				講義・演習	鈴木・日高・外部講師
14	13)14)15)16)	病院・保険薬局見学				見学	鈴木・日高
15	13)14)15)16)	薬品工場・医薬品卸・保健所見学				見学	鈴木・日高
教科書(著者名)出版社名[ISBN]		薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック ver.2 (西鶴智香 著) 薬事日報社【978-4-8408-1407-2】					
参考書(著者名)出版社名[ISBN]		使用しません。					

科目名	キャリア教育			授業コード	110005B302	単位数	2
配当学科(学年)	動物生命薬科学科(1年)			時間数	30	AL科目	
担当者	明石 敏	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般目標(GIO)	概要:教員のキャリアから、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考えることができる。 一般目標:各教員のキャリアを学び、自分の人生に目標・目的をもち、自分の人生をどう送りたいのか、を計画的に準備する意義を認識することができる。						
到達目標(SBOs)	1)キャリアに関し話することができる。 2)教員から情報収集の方法を知り、参考にできる。 3)教員の経験や専門知識を知り、将来予想している自分のキャリアを比較し、今の自分に何が必要かを考えることができる。						
実務経験のある教員による教育	科目担当者は各領域における実務担当者であり、それぞれの実務経験(キャリア)から、学生自身の将来のキャリア(ライフプラン)を認識・学修を目的とした授業を行う。						
評価方法	課題の提出(60%)状況並びに授業態度(40%)を総合的に評価する。 評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・履修上の注意等	各教員のキャリア、専門用語などをノートに記録すること。専門用語などは、学習内容のまとめを作成して復習すること。						
オフィスアワー	オムニバス授業のため各教員による掲示に従うこと。						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【教員のキャリア①】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	明石
2	1)2)3)	【教員のキャリア②】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	明石
3	1)2)3)	【教員のキャリア③】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	片本
4	1)2)3)	【教員のキャリア④】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	片本
5	1)2)3)	【教員のキャリア⑤】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	紺野
6	1)2)3)	【教員のキャリア⑥】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	紺野
7	1)2)3)	【教員のキャリア⑦】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	松葉
8	1)2)3)	【教員のキャリア⑧】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	松葉
9	1)2)3)	【教員のキャリア⑨】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	橋本
10	1)2)3)	【教員のキャリア⑩】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	橋本
11	1)2)3)	【教員のキャリア⑪】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	山内
12	1)2)3)	【教員のキャリア⑫】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	山内
13	1)2)3)	【教員のキャリア⑬】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	正木
14	1)2)3)	【教員のキャリア⑭】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	宮内
15	1)2)3)	【教員のキャリア⑮】担当教員のキャリアを知り、自分の将来のキャリア(ライフプラン)を考える。	講義	明石

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しません。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	各教員が指示します。

科目名	キャリア教育		授業コード	110005B501	単位数	2	
配当学科(学年)	生命医科学科(2年)		時間数	30	AL科目	『O』	
担当者	池脇 信直	開講学期	2021年度前期	必修・選択	筆記試験です。必須科目ではない科目です。	授業形態	講義
授業の概要・一般目標(GIO)	中央教育審議会(中教審)の答申を基盤に、大学教育の中で知識や技能を身につけ、自己の個性を理解し、将来社会に貢献できる有望な人材として成長するための基礎的な能力を養うことを目的とする。以下の6つのテーマについて、スモールグループディスカッション(SGD)及びアクティブラーニング(AL)型で授業を進める。(1)「はたらく」意味を考える。(2)「キャリア」について考える。(3)「自分の職」を考える。(4)「社会が求めていること」を考える。(5)「未来のはたらきかた」を考える。(6)「職業」を考える。						
到達目標(SBOs)	1)「はたらく」意味を理解できる。 2)「キャリア」について理解できる。 3)「自分の職」を理解できる。 4)「社会が求めていること」を理解できる。 5)「未来のはたらきかた」を理解できる。 6)「希望」について理解できる。 7)「職業」を理解できる。						
実務経験のある教員による教育	科目担当者の池脇信直は臨床現場(大学病院等)での10年以上の実務経験に基づき、中教審が掲げるキャリア教育に関する最新の資料とデータを提供しながら授業を行う。						
評価方法	毎回の授業終了後に理解度テストを行うと共に、その結果(成果)をフィードバックする。SGD及びAL型授業において、学習への取り組み姿勢(理解度テストの実施、課題提出、積極的な質問や発言などの授業への参加)を50%、学期末の定期試験を50%として単位認定を行う。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配付して丁寧に説明する。						
準備学習・履修上の注意等	授業は主に「キャリア教育」に関わる課題を提供すると共に、その課題をSGD及びAL型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。1回の授業につき4時間以上を目安に予習と復習を行うこと。						
オフィスアワー	毎週月曜日～金曜日:12:20～13:00						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	「はたらく」意味を考える。①	講義・SGD	池脇
2	1)	「はたらく」意味を考える。②	講義・SGD	池脇
3	2)	「キャリア」について考える。①	講義・SGD	池脇
4	2)	「キャリア」について考える。②	講義・SGD	池脇
5	3)	「自分の職(わだち)」を考える。①	講義・SGD	池脇
6	3)	「自分の職(わだち)」を考える。②	講義・SGD	池脇
7	4)	「社会が求めていること」を考える。①	講義・SGD	池脇
8	4)	「社会が求めていること」を考える。②	講義・SGD	池脇
9	5)	「未来のはたらきかた」を考える。①	講義・SGD	池脇
10	5)	「未来のはたらきかた」を考える。②	講義・SGD	池脇
11	6)	「希望」について考える。①	講義・SGD	池脇
12	6)	「希望」について考える。②	講義・SGD	池脇
13	7)	「職業」を考える。① 適職と天職	講義・SGD	池脇
14	1)~7)	「職業」を考える。② 臨床検査技師・細胞検査士の仕事を知る。	講義・SGD	池脇
15	1)~7)	「職業」を考える。③ 生命医科学研究者の仕事を知る。	講義・SGD	池脇

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しません。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	資料(プリント)を配付します。

科目名	キャリア教育			授業コード	110005B601	単位数	2
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			時間数	30	AL科目	○
担当者	横山 裕	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般目標(GIO)	本講義の目標は、「豊かな人間性、高いコミュニケーション能力、高度な臨床的知識を備えた言語聴覚士または公認心理師」になるために(DP1,2,4)、社会人としての基礎を身につけながら、並行して専門職を目指す者としての基礎を身につけることにある(CP1,2)。						
到達目標(SBOs)	1)自分の特徴(いわゆる長所・短所)を客観視する。 2)自分と社会との接点に気付く。 3)言語聴覚士及び公認心理師の仕事の社会的側面について知る。 4)関連他職種との存在とその特徴について知る。 5)他職種との連携の重要性を理解する。						
実務経験のある教員による教育	原は言語聴覚士として5年以上の臨床経験を有する。横山はキャリアカウンセラーとして5年以上の実務経験を有する。						
評価方法	授業毎の小テストやレポート課題により形式的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業の参加態度など)の評価を50%、学期末の総括レポートを50%として単位認定を行う。						
準備学習・履修上の注意等	医療や福祉に関する最新の動向について関心を持つように心がけること。また、自分の長所・短所を知り、長所は伸ばす、短所は改善することが、2・3・4年時の学内・外臨床実習や将来の臨床につなげるために重要である。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1),2)	キャリアとは何か理解する。	講 義	横 山
2	1),2)	キャリア教育の意味について考える。	講義・SGD	横 山
3	1),2)	自己のキャリアを考える視点を理解する。	講 義	横 山
4	1),2)	自己のキャリアを形成する方法について学ぶ。	講 義	横 山
5	3)	キャリアにおける資格について考える。	講 義	横 山
6	1),2),3)	自己のキャリアプランを立ててみる。	講 義	横 山
7	1),2),3)	他者のキャリアを理解する。	講義・SGD	横 山
8	3),4)	医療、保健領域を取り巻く状況を理解する。	講 義	原
9	3),4)	福祉、教育領域を取り巻く状況を理解する。	講 義	原
10	3),4)	専門職に必要なキャリアを理解する(1)医療	講 義	原
11	3),4)	専門職に必要なキャリアを理解する(2)保健	講 義	原・外部講師
12	3),4)	専門職に必要なキャリアを理解する(3)福祉	講 義	原・外部講師
13	3),4)	専門職に必要なキャリアを理解する(4)心理	講 義	原・外部講師
14	1)~5)	多職種連携に必要なキャリアを理解する。	講義・SGD	原
15	1)~5)	総括	講 義	原、横山

教科書(著者名)出版社名【ISBN】

特にありませんが、教員より参考書等文献の指示があります。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

教員の指示に従ってください。

科目名	コミュニケーション論		授業コード	110007B101	単位数	2	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科・動物生命薬科学科(1年)		時間数	30	AL科目	○	
担当者	清水 径子	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	演習・講義
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>【授業の概要】 社会が求める能力の一つに「コミュニケーション力」が挙げられています。授業内容は基礎的な敬語及びマナーを学習し、様々な相手や場面に応じた基本的なコミュニケーション技術、援助的態度に必要なコミュニケーション能力についての講義形式および(グループ)ワーク形式で実施します。</p> <p>【一般目標】 コミュニケーション論では、保健・福祉・医療など幅広い現場における対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得することを目的としています。また、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養います。</p>						
到達目標(SBOs)	<p>1)社会が求めるコミュニケーションとは何かを考え、説明できる。 2)テキストを読み、自分の意見を書くことができる。 3)基礎的な敬語・マナーを用いることができる。 4)自分自身の物の見方や価値観に気付き、他者との違いを知る。 5)様々な相手や場面に応じた適切な言葉遣いができる。 6)相手に伝わる話し方を考え、実践できる。 7)相手の話を聴くための方法を考え、実践できる。 8)人間関係づくりのための演習に積極的に参加する。 9)人間関係を形成するために必要な心理的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できる。 10)組織に必要なリーダーシップ等チーム内でのコミュニケーションの基本が理解できる。</p>						
実務経験のある教員による教育	外部講師として日本パペットーク普及協会の講師を招き、活気・元氣・勇気を与えるためのトーク術としてパペットークを紹介する。学生自身が前向きになり、周囲の人たちを励ますことができるようなコミュニケーション方法を学ぶことができる。						
評価方法	授業態度(質問・発言などの積極的な参加、返却物の受け取り)及び課題提出状況を50%、学期末の単位認定試験を50%として評価する。課題提出については、授業中に提示したレポート課題は後日、採点して返却する。ただし、単位認定試験については、60%以上得点することが単位取得の条件となる。詳細な評価基準は、授業開始日に資料を配布し説明する。						
準備学習・履修上の注意等	原則、遅刻・欠席をしない。授業開始時に基本的な敬語のテストを行う。また、授業後は課題に取り組み、提出期限を厳守すること。						
オフィスアワー	授業の前後、それ以外は研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	SBOsNo	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)2)3)5)9)	オリエンテーション 社会問題となっているコミュニケーション不足について 敬語:自己紹介・挨拶・質問・返答の方法				講義・演習	清水
2	1)2)3)5)9)	コミュニケーション力低下の背景 敬語:理解・確認・接客・取次 課題①:コミュニケーションが減少した背景をまとめなさい。				講義・SGD	清水
3	1)2)3)5)9)	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎① コミュニケーションのメカニズムを理解する。 敬語:電話のかけ方・受け方				講義・SGD	清水
4	1)3)5)9)	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎② コミュニケーションの常識、非常識を考える。 敬語:Eメール・手紙 課題②:コミュニケーションとは何かまとめなさい。				講義・演習	清水
5	1)2)3)6)8)9)	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎③ 相手に伝わる言語表現について理解し、考えることができる。 敬語:報連相・ビジネス用語				講義・SGD	清水
6	1)2)3)7)8)9)	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎④ 相手の伝えたいことを聴く力について理解する。 敬語:内と外との関係・アポイントメントをとる 課題③:事例を読み、会話の中で気を付けることをまとめなさい。				講義・SGD	清水
7	3)4)5)8)9)	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎⑤ 自己覚知をし、他者との違いを学ぶ。 敬語:取引先への訪問・面会				講義・SGD	清水
8	3)4)5)8)9)	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎⑥ 他者との価値観の違い、自分自身の価値観への気づきが促される。 敬語:相互理解・謝罪・案件の保留 課題④:コミュニケーションを図る際に自己覚知する理由をまとめなさい。				講義・SGD	清水
9	1)3)5)8)9)	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎⑦ 社会人として必要な基礎的なコミュニケーションの常識や技術を学ぶ。 敬語:お礼・お断り・携帯電話のマナー				SGD	清水
10	3)4)5)6)8)10)	チームマネジメント① 話し方、聞き方の自分の特徴について知る。 敬語:接待・クレーム対応 課題⑤:話し方、聞き方の自分の特徴をまとめなさい。				講義・演習	清水
11	3)5)6)7)8)10)	チームマネジメント② リーダーシップ・チームワークに必要なコミュニケーションを学ぶ。 敬語:冗長表現・社内での会話・ひとの呼称				講義・SGD	清水
12	5)6)8)10)	チームマネジメント③ コミュニケーションの実際(パペットークを学ぶ) 課題⑥:多様なコミュニケーション方法についてまとめなさい。				講義・SGD	外部講師
13	3)5)6)7)8)10)	チームマネジメント④ 双方向コミュニケーションの重要性について学ぶ。 敬語:ものの呼称・社会人のマナー				SGD	清水
14	3)5)6)7)8)	相談される場面でのコミュニケーション方法を学ぶ。 敬語:社会人のマナー②・配慮のある一言				SGD	清水
15	3)5)6)7)8)	まとめ 様々な場面に応じた言葉遣いに関して再確認する。 敬語:日常会話・冠婚葬祭				SGD	清水
教科書(著者名)出版社名[ISBN]	コミュニケーション力～人間関係づくりに不可欠な能力(渡邊忠・渡辺三枝子)一般社団法人雇用問題研究会[978-4-87563-259-7]						
参考書(著者名)出版社名[ISBN]	使用しない。						

科目名	コミュニケーション論			授業コード	110007B301	単位数	2
配当学科(学年)	薬学科(1年)			時間数	30	AL科目	○
担当者	高村 徳人	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・SGD・プレゼン
授業の概要・ 一般目標(GIO)	<p>薬剤師としての倫理観を獲得するための人権・尊厳・法令を配慮・遵守して行動する能力や、患者を中心としたチーム医療へ参画するためのコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>コミュニケーション論では、医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基礎知識、技能、態度を修得する。</p>						
到達目標 (SBOs)	<p>1)ガンなどの難治患者の気持ちに配慮すべき事項を列挙し、適切な対処法を説明できる。</p> <p>2)心の病気を列挙し、その病気の特徴を説明できる。</p> <p>3)心の病気に対する適切な対処法を説明できる。</p> <p>4)薬剤師が行うべき薬学的医療貢献を列挙しそれについて説明できる。</p> <p>5)薬剤師技術を向上のための道具を創造し説明できる。</p> <p>薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応:A-(1)-②薬剤師が果たすべき役割-1~3、A-(3)-①コミュニケーション-1~9</p>						
実務経験のある 教員による教育	様々な病気の患者への薬剤管理指導業務の際のコミュニケーション実践経験を活かし授業やSGDなどを展開していく。						
評価方法	毎時間学生に質問することにより学習成果のフィードバックを行う。客観評価(80%)、口頭試験(10%)およびプレゼンテーション(10%)として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1回の授業につき1時間程度を目安に予習と復習を行うこと。予習は授業中に次回までに取り組む課題を提示する。講義の内容を理解するために、授業中は集中して聴き、ノートもしっかり取ること。さらに、ホームワークで講義のポイントを再確認すること。講義中の私語、遅刻は厳禁。						
オフィスアワー	月曜～金曜日 17:00～18:00(M-422)						
授業計画							
回数	SBOs No.	授業内容				授業方法	担当
1	1)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(1)				講義	高村
2	1)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(2)				講義・SGD	高村
3	1)	医療コミュニケーションのコツについて考えてみよう(3)				講義・SGD	高村
4	2)	患者とのコミュニケーション技術を身に付けよう(1)				講義・SGD	高村
5	2)	患者とのコミュニケーション技術を身に付けよう(2)				講義・SGD	高村
6	2)	患者とのコミュニケーション技術を身に付けよう(3)				講義・SGD	高村
7	2)	患者とのコミュニケーション技術を身に付けよう(4)				講義・SGD	高村
8	3)	心の病気とその対応について考えてみよう(1)				講義・SGD	高村
9	3)	心の病気とその対応について考えてみよう(2)				講義・SGD	高村
10	3)	心の病気とその対応について考えてみよう(3)				講義・SGD	高村
11	4)	薬剤師の薬学的医療貢献と方法を考えてみよう(1)				講義・SGD	高村
12	4)	薬剤師の薬学的医療貢献と方法を考えてみよう(2)				講義・SGD	高村
13	4)	薬剤師の薬学的医療貢献と方法を考えてみよう(3)				講義・SGD	高村
14	5)	薬剤師技術向上のための道具について考えてみよう(1)				講義・プレゼン	高村
15	5)	薬剤師技術向上のための道具について考えてみよう(2)				講義・プレゼン	高村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	<p>薬剤師のための医療コミュニケーションスキル(町田 いづみ)じほう【978-4840-730-747】</p> <p>がんばろう薬剤師—薬剤師の医療貢献の道を探る—(高村徳人)講談社【978-4-06-156304-9】</p>						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。						

科目名	基礎統計学			授業コード	110056B101	単位数	2
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)			時間数	30	AL科目	○
担当者	井藤 英俊	開講学期	2021年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・ 一般目標(GIO)	心理統計またはスポーツ統計において必要とされる統計学の基礎的知識ならびに、計算機やPCを用いたデータの集計と分析の基本的な手法を学修する。						
到達目標 (SBOs)	1) 質的変数と量的変数が区別できる。 2) 4つの尺度を区別できる。 3) データから度数分布表とグラフを作成できる。 4) 3つの代表値の区別ができ、簡単なデータの計算ができる。 5) 標準偏差の意味を理解し、簡単なデータを用いた標準偏差の計算ができる。 6) 標準得点の意味を理解し、簡単なデータを用いた標準得点の計算ができる。 7) 2変数(量的変数)の散布図を作成し、相関係数を求め、2変数の関係を記述できる。 8) 2変数(質的変数)クロス表を作成し、 χ^2 検定を用いて、2変数の関係を記述できる。 9) 正規分布の概念を理解し、標本から母集団を推測できる。						
実務経験のある 教員による教育	統計学は、医療や福祉、学校教育、スポーツ指導の現場において欠かすことができないスキルの一つである。科目担当者の実践経験に基づいた授業を一部展開する。						
評価方法	授業の際のレポート(20%)ならびに学期末試験(80%)で評価する						
準備学習・ 履修上の注意等	授業には、計算機を準備すること(スマートフォンは不可)。各自1時間程度の授業前後の学修をすること。						
オフィスアワー	時間割発表後に研究室ドアに掲示する。						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	【統計学とは】身近な数値から、質的変数と量的変数を理解する	講 義	井 藤
2	2)	【4つの尺度】身近な数値から4つの尺度水準の違いを理解する	講 義	井 藤
3	3)	【データの図表化】データを用いて、度数分布表とヒストグラムを作成する	講義・演習	井 藤
4	4)	【代表値】3つの代表値について理解し、データから代表値を計算する	講義・演習	井 藤
5	5)	【標準偏差1】分散と標準偏差について理解する	講 義	井 藤
6	5)	【標準偏差2】データを用いて分散と標準偏差の計算をする	講義・演習	井 藤
7	6)	【標準得点1】標準得点について理解する	講 義	井 藤
8	6)	【標準得点2】データを用いてz得点と偏差値の計算をする	講義・演習	井 藤
9	7)	【2変数の関係(相関)1】データを用いて散布図を作成する	講義・演習	井 藤
10	7)	【2変数の関係(相関)2】データを用いて相関係数を求め、その関係を記述する	講義・演習	井 藤
11	8)	【2変数の関係(連関)1】クロス集計表の作成	講義・演習	井 藤
12	8)	【2変数の関係(連関)2】 χ^2 検定を用いて、2変数の関係を記述する	講義・演習	井 藤
13	9)	【母集団と標本1】母集団と標本について理解する	講 義	井 藤
14	9)	【母集団と標本2】正規分布について理解する	講 義	井 藤
15	3)4)5) 6)7) 8)	【データの分析】PCを用いて、データを集計、分析する	演 習	井 藤

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 よくわかる心理統計学 (山田剛史・村井潤一郎)

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 なし

科目名	社会学			授業コード	110075B301	単位数	2
配当学科(学年)	作業療法学科・言語聴覚療法学科・臨床工学科・動物生命薬科学科・臨床心理学科(1年)			時間数	30	AL科目	○
担当者	長友 道彦	開講学期	2021年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>「社会」は身近な家庭から地域、国家や世界という広い領域から構成されている。そして、それぞれの領域において、様々な問題が発生している。育児や介護という家族の問題、経済的格差や貧困の連鎖という問題があり、学校に限らず様々な場でのいじめや職場におけるセクハラ・マタハラがある。さらには、世界的規模での公害問題や貿易問題、民族・宗教問題などもある。</p> <p>この授業では、社会の様々な構成要素や事象、社会における問題点を取り上げ、理解し考察し、そして、どうすることが人間の福利・幸福(well-being)につながるかを考察する。</p> <p>また、様々な短歌を通して、社会を考察する。</p>						
到達目標(SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 社会学に関する用語や意義を理解し、説明することができる。 2) 社会構造や事象の成立過程や問題点を理解し、説明することができる。 3) 社会事象の問題点を理解し、あるべき姿を考察し表現することができる。 4) 本学で学ぶことによって、福祉に対する理解と行動する意欲を持つことができる。 5) 人間の福利(well-being)に対する考察を深め、実践への意識を持つことができる。 6) 「社会福祉士国家試験」「精神保健福祉士国家試験」に対応できる学力をつける。 						
実務経験のある教員による教育	授業担当者(長友)は、教育現場(宮崎県立高等学校教諭及び教頭)での30年以上の実務経験に基づき、いじめ・引きこもりの問題、教育の平等性と階層の関連についての授業を行う。						
評価方法	各授業ごとに小テストを行い、結果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(小テストや課題の提出、授業プリントの受け取り、質問・発言・回答など授業への参加)を2割、学期末の筆記試験を8割として、単位認定を行う。詳細な評価基準は授業開始日に資料を配付して説明する。						
準備学習・履修上の注意等	予習は使用する教科書を熟読して難解な語句の意味を調べるのに150分、復習は小テストの確認、レジュメの見直しと教科書の再読に90分を充てること。新型コロナウイルスの感染状況によっては、SGDなど変更することもある。						
オフィスアワー	火(15:30~16:30)、水・木(12:00~13:00)、金(13:10~14:40)。場所は、研究室(513号室)です。						

授業計画

回数	SBOsNo	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)4)5)6)	社会学の視点1 社会学の意義と対象 ・社会学が社会福祉や社会福祉士・精神保健福祉士にとって、なぜ必要なのかを理解する。・社会福祉士・精神保健福祉士の2つの役割を理解する。・社会学と社会福祉とが協働できる分野について理解する。	講 義	長 友
2	1)2)4)5)6)	社会学の視点2 社会学の歴史 ・社会学のどのように展開されてきたかを学ぶ。・社会学が「人と社会」をどのようにとらえてきたかを把握する。・福祉やソーシャルワークに役立つ理論や方法論を見つける。	講 義	長 友
3	1)2)3)5)6)	社会構造と変動1 社会システム ・社会の日常的な営みかどのような仕組みで動いているかを学ぶ。・社会をシステムとしてみる観点を身につける。・社会システムにおける資源分配の問題点を理解する。	講 義	長 友
4	1)2)3)4)5)6)	社会構造と変動2 組織と集団 ・集団と組織の違いを理解する。・組織がどのように形成され、どのように問題を生み出すのかを理解する。・非営利組織や非営利セクターについて理解する。	講 義	長 友
5	1)2)3)4)5)6)	社会構造と変動3 人口/環境 ・人口減少と人口モメンタムとの関連性を理解する。・少子化/人口高齢化のメカニズムを理解する。・これからの移動や都市に人が集まることの影響について検討する。・環境問題をめぐる歴史的経緯について学ぶ。	講 義	長 友
6	1)2)3)4)5)6)	社会構造と変動4 グローバリゼーション ・グローバリゼーションの定義について学ぶ。・貿易・資本・生産体制に関するグローバリゼーションの状況について学ぶ。・グローバリゼーションの進展に伴う影響について学ぶ。・医療・福祉人材のグローバル化について学ぶ。	講 義	長 友
7	1)2)3)4)5)6)	社会構造と変動5 社会変動 ・社会学者による社会構造の捉え方を学ぶ。・要因から社会変動の進行について理解する。・変動する社会における社会福祉の方向性について把握する。	講 義	長 友
8	1)2)3)4)5)6)	社会構造と変動6 ・地域という枠組みの意味・意義を学ぶ。・コミュニティをめぐる社会的背景を理解する。・地域コミュニティのアクター(主体)としてのソーシャルワーカーの役割を考える。	講 義	長 友
9	1)2)3)4)5)6)	市民社会と公共性1 社会的格差 ・所得、雇用、教育、健康などさまざまな社会的格差の特徴について学ぶ。・日本「中流崩壊」論争と格差拡大の経緯を学ぶ。・社会的不平等や格差が再生産される論理を理解する。	講 義	長 友
10	1)2)3)4)5)6)	市民社会と公共性2 社会政策と社会問題 ・産業社会と脱産業社会の社会問題・社会政策について学ぶ。・社会運動(労働運動)と福祉レジームの関係、「日本型福祉社会」について把握する。・公共空間の変質や新しい公共空間に関する議論を理解する。	講 義	長 友
11	1)2)3)4)5)6)	市民社会と公共性3 差別と偏見 ・偏見のメカニズムについて学ぶ。・差別のメカニズムについて学ぶ。・新しい差別現象を学ぶ。	講 義	長 友
12	1)2)3)4)5)6)	生活と人生1 家族とジェンダー ・家族に関する基本的な概念について家族社会学から学ぶ。・ジェンダーと近代家族の関係ならびに家族変動について理解する。・家族変動に伴う現代家族をめぐる社会問題について把握する。	講義SGD	長 友
13	1)2)3)4)5)6)	生活と人生2 健康 ・自殺、依存症に関する社会学的知見と対策について学ぶ。・心身の障害、慢性疾患に関する社会学的知見について学ぶ。・治療と仕事の両立支援対策について学ぶ。	講 義	長 友
14	1)2)3)4)5)6)	生活と人生3 労働 ・労働市場の性質とルールの働きを理解する。・労働をめぐる国際的な取り組みと日本の特徴を把握する。・21世紀の労働課題を知り、ソーシャルワーカーの役割を考察する。	講 義	長 友
15	1)2)3)4)5)6)	生活と人生4 世代 ・「世代」の3つの側面について学ぶ。・個人化の進行と「社会問題」に対する社会学的視点を理解する。・世代間交流の意義を学ぶ。	講 義	長 友

教科書(著者名)出版社名[ISBN] 最新・社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座3 『社会学と社会システム』 ISBN9784805882337

参考書(著者名)出版社名[ISBN] 適宜紹介します。

科目名	人間・運動発達学		授業コード	121241B201	単位数	2	
配当学科(学年)	作業療法学科(2年)		時間数	30	AL科目		
担当者	園田 徹	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・ 一般目標(GIO)	<p>作業療法の仕事をするには、治療の対象である人間を理解する必要がある。人間発達学は、人間は発達する存在であるという観点から「人とは何か」、つまり「自分とは何か」を理解しようとする学際的な学問(生物学、生理学、解剖学、発生学、遺伝学、比較行動学などの自然科学の分野の基礎知識と心理学、社会学、分化人類学などの人文科学の分野の基礎知識が含まれる)であるといえる。文理融合の考え方を養い、人間の質的変化のプロセスを体系的に理解する。運動学は人間の運動の科学であり、医学、物理学、心理学、社会学などの多くの学問を統合したものの上に成立している。運動学の基礎的な知識は、医師、理学療法士、作業療法士、体育指導者などにとって必須である。運動機能の発達は、神経系の成熟、骨・関節・筋の運動器の成長、運動学習と密接に関係する。運動機能を中心に正常発達と異常な発達の概要、およびその評価法に関する知識を修得する。</p>						
到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 身体的発達、認知的発達、情緒的・社会的発達について説明できる。 2) 発達評価、発達課題論、発達課題について説明できる。 3) パーソナリティーの発達について説明できる。 4) 発達、発達分析、中枢神経系の発生と運動発達、胎児および幼児の運動発達について説明できる。 5) 発達診断に必要な原始反射と反応、正常発達：うつ伏せの発達について説明できる。 6) 仰向け発達、ボイタ法、精神遅滞の見つけ方、脳性麻痺の見つけ方について説明できる。 7) 正常な反射と反応、それらの異常、GM assessment の意義について説明できる。 8) 姿勢制御の機構と立位姿勢の異常について説明できる。 9) 歩行とは、歩行の周期性、小児の歩行、高齢者の歩行、歩行の性差と加齢変化について説明できる。 10) 異常歩行・歩行障害の診断手引き、移動の動作パターンと時間計測、走行、階段の昇降について説明できる。 						
実務経験のある 教員による教育	教員(園田)は小児科医であり、学外で定期的に一般診療のほか小児保健(検診や予防接種)に関する業務を行っている。						
評価方法	毎回の授業時間のなかで重要な部分(ヤマ)を示し、そのストックのなかから期末に行う筆記試験の点数、および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で生物学の基礎知識を身につけておくこと。						
オフィスアワー	毎週月・火曜日 12:00~13:00						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当		
1	1)	乳児・幼児前期の発達①	講義	園田		
2	1)3)	乳児・幼児前期の発達②	講義	園田		
3	1)2)	幼児後期の発達①	講義	園田		
4	1)2)	幼児後期の発達②	講義	園田		
5	1)3)	学童期の発達①	講義	園田		
6	1)2)3)	学童期の発達②	講義	園田		
7	1)2)3)	学童期の発達③	講義	園田		
8	1)3)	青年期の発達	講義	園田		
9	4)	運動発達	講義	園田		
10	5)	乳児の発達のみかた①	講義	園田		
11	6)	乳児の発達のみかた②	講義	園田		
12	7)	反射と反応、GM assessment	講義	園田		
13	8)	姿勢	講義	園田		
14	9)	歩行と走行①	講義	園田		
15	10)	歩行と走行②	講義	園田		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。				

科目名	作業療法研究法		授業コード	120411A201	単位数	1	
配当学科(学年)	作業療法学科(3年次)		時間数	30	AL科目	○	
担当者	田中 睦英	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般目標(GIO)	1. 作業療法に関連する研究の必要性について説明することができる。 2. 研究デザイン(主に臨床研究)について説明できる。 3. 自身の興味・関心を研究テーマに昇華できる。 4. 自身の考案した研究テーマにもとづいて研究計画書を作成することができる。						
到達目標(SBOs)	1)研究の意義を理解し説明できる。また、研究の流れを理解し説明できる。 2)文献レビューの目的と方法を理解し、説明できる。 3)文献を収集しレビューできる。 4)事例研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。 5)調査的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。 6)実験的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。 7)シングルケース実験法の目的と方法を理解し、説明できる。 8)文献的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。 9)文献レビューに基づいて自身の研究テーマを立案し、研究計画書を作成できる。						
実務経験のある教員による教育	作業療法や神経科学に関する学会・論文発表経験や、九州大学大学院医学研究院臨床神経生理学教室 共同研究員(H30～)としての研究実績に基づき、研究の基本知識から研究計画立案までを修得できる授業を行う。						
評価方法	講義内で実施する理解度テスト(10%)、課題(30%)、研究計画書(60%)で評価する。						
準備学習・履修上の注意等	教科書や各自で収集した論文などを事前に読み、1時間程度予習すること。また平日頃から関心のあるテーマに関する論文を収集し、精読すること。						
オフィスアワー	質問等は個別にメールで対応する。						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【研究テーマの決定①】 研究疑問から、研究テーマについて考えることができる。	講義・演習	田 中
2	1)2)	【研究テーマの決定②】 研究テーマの細部について検討できる。	講義・演習	田 中
3	1)2)	【研究テーマの決定③】 研究テーマの細部の修正ができる。	講義・演習	田 中
4	1)2)	【研究テーマの決定④】 研究テーマの絞り込みができる。	講義・演習	田 中
5	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
6	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
7	3)	【研究テーマに関する文献の検索③】 文献を読み、内容を理解・整理できる。	講義・演習	田 中
8	3)	【研究テーマに関する文献の検索④】 文献の内容をカード化できる。	講義・演習	田 中
9	4)5)6)	【研究方法の検討①】 研究の意義について理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
10	4)5)6)	【研究方法の検討②】 研究疑問について理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
11	4)5)6)	【研究方法の検討③】 仮説について理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
12	4)5)6)	【研究方法の検討④】 実験的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
13	7)8)	【研究方法の検討⑤】 記述的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
14	7)8)9)	【研究計画①】 研究プロトコルについて理解し、説明できる。	講義・演習	田 中
15	7)8)9)	【研究計画②】 研究計画を考案できる。	講義・演習	田 中

教科書(著者名)出版社名[ISBN]	PT・OTのための臨床研究はじめての一步(山田 実編)羊土社(ISBN978-4-7581-0216-2)
参考書(著者名)出版社名[ISBN]	特になし。

科目名	精神医学			授業コード	120701B201	単位数	2
配当学科(学年)	言語聴覚療法学科(3年)			時間数	30	AL科目	
担当者	中山 広宣	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般目標(GIO)	言語機能の障害を人の胎生期から、成人し老化へ進むあらゆる過程で発生する。特に小児の発達期と老年期の基本授業概要:①精神機能について、②精神疾患と精神障害について、③精神疾患(障害)の治療とリハビリテーション。 一般目標:近年の社会構造や疾病構造の変化により、身体障害と精神的・心理的障害を合併した対象者が増加している。そのため、精神障害、および老年期疾患、高次脳障害、発達障害、身体障害の精神的・心理的・社会的支援は欠かすことができない。このような多様な背景を持つ精神障害者に対しても支援を行うことのできる言語聴覚士となるために(DP4, 5)、精神障害者や身体障害者の精神・心理を理解し、リハビリテーションの方法を修得する(CP1(4))。						
到達目標(SBOs)	1. 精神症状の概略について説明できる。 2. 精神医学の診断と評価、治療について概説できる。 3. 各種精神疾患の成因を説明できる。 4. 各種精神疾患の精神症状を述べることができる。 5. 薬物療法について述べるができる。 6. 精神療法の種類とその内容を説明できる。 7. 精神障害者の治療形態を述べるができる。 8. 精神障害者のリハビリテーションの流れと社会資源を述べるができる。						
実務経験のある教員による教育	精神科医として20年以上の臨床経験を有し、臨床経験に基づき、精神疾患と治療、精神科医療機関で活用される基礎知識の修得を目的とした講義を行う。						
評価方法	定期試験及び授業受講態度(小レポートや発表)						
準備学習・履修上の注意等	精神医学を学ぶことは人(精神または心)の理解において非常に重要である。そのため、疾患や障害をもった人を対象とする医療者には欠かせない学問であることを忘れずに受講すること。 予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	SBOs No.	授業内容				授業方法	担当
1	1, 2	異常を判定する基準、精神医学特有の方法(了解、追体験、解釈等)				講義	堀
2	1, 2	精神症状の概略				講義	堀
3	1, 2	伝統的分類(器質性、内因性、心因性)、国際的診断分類(ICD, DSM)				講義	堀
4	1, 2	精神障害の評価と診断、薬物療法				講義	堀
5	3, 7, 8	精神障害の成因と分類、精神保健福祉法、入院形態、医療観察法				講義	中山
6	3, 4	精神機能の障害と精神症状(意志の障害、自我障害、知覚障害、思考障害、感情障害)				講義	中山
7	3, 4, 5, 6	脳器質性精神障害(アルツハイマー病、脳血管性認知症、その他の認知症)				講義	中山
8	3, 4, 5, 6	症状性精神障害、精神作用物質障害(アルコール依存症、薬物依存症)、てんかん				講義	中山
9	3, 4, 5, 6	統合失調症Ⅰ(タイプと症状)				講義	中山
10	5, 6	統合失調症Ⅱ(治療)				講義	中山
11	3, 4, 5, 6	気分障害(うつ病、躁うつ病)				講義	中山
12	3, 4, 5, 6	神経症性障害(不安神経症障害、恐怖症性障害、強迫性障害、解離性障害)				講義	中山
13	3, 4, 5, 6	生理的障害、身体要因に関連した精神障害、人格障害				講義	中山
14	3, 4, 5, 6	精神遅滞、発達障害、心身医学、リエゾン精神医学				講義	中山
15	5, 6, 7, 8	精神障害者の治療(精神療法、薬物療法)とリハビリテーション				講義	中山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 医学書院【ISBN 978-4-260-02434-1】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版					

科目名	耳鼻咽喉科学			授業コード	120498B201	単位数	2
配当学科(学年)	言語聴覚療法学科(2年)			時間数	30	AL科目	○
担当者	戸高 翼	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	必修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・ 一般目標(GIO)	言語聴覚士として耳鼻咽喉科領域の知識は、言語聴覚障害児・者と適切に関わっていくためには必須のものである。 「耳鼻咽喉科学」では、多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な評価および言語聴覚療法を行うことができる言語聴覚士となるために(DP3)、耳鼻咽喉科学領域の耳科学および鼻科学の基礎知識を理解し、構造・機能・病態の関係を概説できる力を修得する(CP1(5))。						
到達目標 (SBOs)	1)聴覚器の解剖学に精通し、聴覚機能のメカニズムおよび疾患を説明できる。 2)鼻・副鼻腔の解剖学に精通し、疾患と症候を説明できる。 3)耳鼻咽喉科学に関する国家試験の出題基準を知り、グループで討議し、問題を作成することができる。 4)3)について、グループで討議し、他者が理解できる解説を作成することができる。 5)耳鼻咽喉科学に関する問題を解き、回答に至るプロセスを概説できる。						
実務経験のある 教員による教育	戸高:言語聴覚士として医療機関(耳鼻咽喉科)での5年以上の実務経験および国家試験受験経験に基づき、SGDにおいて指導・助言を行う。 島田:医師(耳鼻咽喉科)としての豊富な臨床経験に基づき、臨床的視点を含めた講義を行う。						
評価方法	各回の授業で学習内容の確認テストや課題を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言など講義への参加)を30%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。詳細な評価の基準は、講義開始日に資料を配布し、説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は、返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。なお、この資料はチューター面談にも使用されるので大切に保管しておくこと。 ・SGDでは、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	戸高:日時-毎週(月)(水)(木)12:20~13:00、場所-研究室 島田:講義前後の休み時間、場所-講義室						
授業計画							
回数	SBOs No.	授業内容				授業方法	担当
1	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理①				講義	島田
2	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理②				講義	島田
3	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理③				講義	島田
4	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療①				講義	島田
5	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療②				講義	島田
6	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療③				講義	島田
7	2)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療④				講義	島田
8	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能①				講義	島田
9	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能②				講義	島田
10	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療①				講義	島田
11	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療②				講義	島田
12	2)	耳鼻咽喉科学のまとめ				講義	島田
13	3)4)	国家試験の出題基準に従い、耳鼻咽喉科学で学んだ知識で問題・解説を作成する①				SGD	戸高
14	3)4)	国家試験の出題基準に従い、耳鼻咽喉科学で学んだ知識で問題・解説を作成する②				SGD	戸高
15	5)	まとめ:自分たちで作成した問題を解き、耳鼻咽喉科学に関する知識を整理する				SGD	戸高
教科書(著者名)出版社名[ISBN]		言語聴覚士のための耳鼻咽喉科学第2版(鳥山稔・田内光 編)医学書院【978-4-260-00444-2】					
参考書(著者名)出版社名[ISBN]		必要に応じて紹介する。					

科目名	視能学総合演習Ⅱ			授業コード	120447D201	単位数	4
配当学科(学年)	視機能療法学科(4年)			時間数	120	AL科目	
担当者	内田 憲之	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	必 須	授業形態	演 習
授業の概要・一般目標(GIO)	視能訓練士の業務である眼科一般検査・検診業務・ロービジョン・斜視弱視に関連する診断・治療につながる有用かつ正確な病態評価が行えるようになるために、1～3年次に学習した医学の基礎知識から視能の専門知識までを補完、統合し、臨床との関連性を考察していくことで、眼科臨床に役立つ実践的な知識を修得する。						
到達目標(SBOs)	1)基礎医学大要(眼の解剖生理・人体の構造と機能・免疫と遺伝・病気のメカニズム・視能訓練士法・心身の発達・医療安全対策・医療面接・心肺蘇生法・診療録)について説明できる。 2)外眼筋の構造と機能について説明できる。 3)両眼視機能について説明できる。 4)弱視の種類とその病態および検査について説明できる。 5)斜視の種類と病態について説明できる。 6)斜視の病態に合わせた両眼視機能検査と眼球運動検査について説明できる。 7)視機能の回復と増強を目的とした訓練について説明できる。 8)各種斜視の種類に対応した手術法を説明できる。 9)眼疾病の病態とその治療法を説明できる。 10)各種眼疾病に対する必要な検査とその所見について説明できる。 11)神経眼科領域における眼障害について説明できる。 12)生理光学(光学の基礎・屈折調節検査・屈折矯正)について説明できる。 13)視覚生理(形態覚と視野・色覚・光覚)について説明できる。 14)眼科で使用される各種薬物について使用用途や副作用などを説明できる。 15)ロービジョンにおける対応と役割、社会的サポートシステムを説明できる。						
実務経験のある教員による教育	それぞれの分野において長年にわたり教育と研究、臨床に精通している教員によって実施する。より具体的に、山本は薬学分野における研究と教育、川野は解剖学における研究と教育、沼田は斜視弱視に関する臨床経験、内田は眼鏡関連の業務と臨床経験、塚田は大学病院での斜視弱視分野と眼科検査の実務的経験を有する。これらの長年にわたる実務経験を持つ教員が本講義を展開する。						
評価方法	演習科目であることから全出席および無遅刻を原則とする。単位認定は、期末試験で評価を行う。						
準備学習・履修上の注意等	視能学総合演習では、自己学習ノートを講義時間外に作成し、各自の方法によりまとめること。学習ノートは記録保管しつつでも提出できるようにしておくこと。特に本講義では多分野にわたる内容であることから、講義内外でSGD(スモールグループディスカッション)が求められる。SGDの結果、理解度が低い内容については、教員に質問を行うこと。						
オフィスアワー	毎週水曜日1～2限 専門分野については各教員のオフィスアワーに合わせる。						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業方法	担当
0	1)	基礎医学大要についてまとめる。①～⑤				演 習	川 野
0	2)	外眼筋の作用と眼球運動についてまとめる。①～②				演 習	川 野
0	3)	両眼視機能についてまとめる。①～②				演 習	沼 田
0	4)	弱視各型、弱視検査についてまとめる。①～②				演 習	沼 田
0	5)	斜視各型についてまとめる。①～⑥				演 習	沼 田
0	6)	斜視検査についてまとめる。①～④				演 習	沼 田
0	7)	視能訓練についてまとめる。①～⑥				演 習	沼 田
0	8)	斜視手術についてまとめる。①～②				演 習	沼 田
0	9)	眼疾患についてまとめる。①～⑥				演 習	塚 田
0	10)	神経眼科についてまとめる。①～⑥				演 習	塚 田
0	11)	眼科検査についてまとめる。①～④				演 習	内 田
0	12)	生理光学についてまとめる。①～⑤				演 習	内 田
0	13)	視覚生理についてまとめる。①～⑥				演 習	内 田
0	14)	眼科薬理についてまとめる。①～②				演 習	山 本
0	15)	ロービジョンについてまとめる。①～②				演 習	内 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】 標準眼科学 第12版(大野 重昭 他) 医学書院【978-4-260-01651-3】 屈折異常とその矯正 第6版(所 敬) 金原出版【978-4-307-35159-1】 眼科検査ガイド(眼科診療プラクティス編集委員) 文光堂【978-4-8306-5521-0】 理解を深めよう 視力検査 屈折検査(所 敬 監修) 金原出版【978-4-307-35132-4】 理解を深めよう						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	視能訓練士セルフアセスメント 第6版(丸尾敏夫・久保田伸枝 編) 文光堂【978-4-8306-5541-8】						

科目名	看護学概論			授業コード	120237B201	単位数	2
配当学科(学年)	臨床工学科(3年)			時間数	30	AL科目	○
担当者	米倉 修司	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習
授業の概要・ 一般目標(GIO)	臨床工学技士は医師の指示のもとに、生命維持装置の操作や医療機器の保守・定期点検などを行う重要な役割を担う業務である。その生命維持装置や医療機器は、患者またはクライアントに使用されるために単に機器の取り扱いを習熟するだけでなく、「人間」への理解を深め配慮できることが重要である。そのために、患者に寄り添う看護師と同様、看護の本質を学ぶことによって、業務と対象との関連性、業務の法的な位置づけや関連性、社会との関わりなどを理解し、修得する必要がある。更に看護における基本的援助技術を演習することによって、ベッドサイドの協働者としての役割を修得する。						
到達目標 (SBOs)	1)看護実践の基礎を学ぶことによって、実践科学としての看護学、看護の機能、看護者の役割などを臨床工学技士の立場から理解し説明できる。 2)看護サービスの利用者である人間(対象)を、ニーズや成長・発達、健康障害、環境との関係、ライフサイクルなどの基本的な視点からみて、臨床工学技士の立場から対象を身体的・心理社会的存在として理解し、配慮できる。 3)看護ケアの基本的役割、看護における基本的援助技術を臨床工学技士の立場から学び、実施することができる。 4)クリティカルケア領域で展開されている看護を臨床工学技士の立場から理解し、生命維持装置が必要な患者管理の理解を深める事ができる。						
実務経験のある 教員による教育	看護師としての経験を活かし、臨床工学技士との連携など、医療業務に携わるスタッフとしての役割を教授する。						
評価方法	レポート課題による評価とする。 指示された事後学習小レポート(800字)の内容50%、全講義終了後のレポート(2000字)の内容50%の比重で、総合的に評価する。レポートの内容は講義中に指示する。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を行うこと。 講義資料(パワーポイント)を配布しているので、それをノート代りに内容の追加をすること。 基本的看護技術ではより実践的に学ぶために、GWを通して必要物品・場面設定やプレゼンテーションを学生自身で行う。						
オフィスアワー	講義前後の時間						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	看護とはなにか ～歴史と理念, 定義～	講義	米倉修司
2	1)	看護教育と組織の特徴	講義	米倉修司
3	1)	看護における法的側面、看護における倫理と価値	講義	米倉修司
4	2)	看護の対象、ライフサイクルと健康	講義	米倉修司
5	2)	マズローのニード階層説(小レポート作成)	講義	米倉修司
6	2)	看護実践のための理論的根拠、看護過程 (グループワーク)	講義	米倉修司
7	2)	看護実践のための理論的根拠、看護過程 (グループワーク)	講義	米倉修司
8	3)	看護における基本的援助技術(演習のための導入)	講義	米倉修司
9	3)	看護における基本的援助技術(演習)	演習 GW	米倉修司
10	3)	看護における基本的援助技術(演習)	演習 GW	米倉修司
11	4)	クリティカルケア看護学概論 ・重症患者を看護するとはどういうことか?	講義	米倉修司
12	4)	クリティカルケア看護学概論 ・人工呼吸器が装着されている患者の看護	講義	米倉修司
13	4)	クリティカルケア看護学概論 ・集中治療後症候群(PICS)の概要	講義	米倉修司
14	4)	クリティカルケア看護における基本的援助技術(演習)	演習 GW	米倉修司
15	1)~4)	総括 ・最終レポート課題作成	講義	米倉修司

教科書(著者名)出版社名[ISBN] 金井 一薫(著), 新版 ナイチンゲール看護論・入門 -『看護覚え書』を現代の視点で読む(白鳳選書<48>)(現代社白鳳選書)(日本語)新書, 2019

参考書(著者名)出版社名[ISBN] ナースのためのやさしくわかる 基礎看護技術 石田弘子(監修) ナツメ社
クリティカルケア看護技術の実践と根拠 道又元裕 編集 中山書店 2011年初版
系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学1 看護学概論 藤崎 郁 他 医学書院 2012年第15版

科目名	画像診断学			授業コード	120188B201	単位数	2
配当学科(学年)	臨床工学科(3年)			時間数	30	AL科目	
担当者	吉武 重徳	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	選 択 ※2011年度以前入学生は必修	授業形態	講 義
授業の概要・ 一般目標(GIO)	臨床工学技士として、必要な医療画像に対する、解剖・生理・病態を理解して、診断から治療にいたる一連の流れを習得する。						
到達目標 (SBOs)	1)画像診断に関する基礎:解剖生理学について説明できる。 2)画像より診断を説明できる。 3)画像診断を応用して、治療する疾患と治療方法を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価方法	授業における教官により行われる質疑応答態度、および毎回の小テストによる評価。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業における内容に対して各回復習を確実にし習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。予習復習の時間を1回あたり目安として1時間を確保すること。						
オフィスアワー	毎週月曜日 13:00~15:00						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	【X線撮影解剖との関連】 X線撮影画像をみて、どのように画像上、立体が平面画像になるのかを学ぶ。	講 義	吉 武
2	1)	【X線撮影臨床における応用】 臨床応用を総論的に俯瞰する。特に著しい進歩について学習する。	講 義	吉 武
3	1)	【CTを読む】 CTスライスから、各臓器の構造を再構築して解剖を理解する。	講 義	吉 武
4	1)	【超音波画像診断】 超音波画像の原理と臨床応用を学習する。	講 義	吉 武
5	1)2)	【呼吸器系1】 解剖をよく理解して、X線画像でどのように表現されているのかを考える。	講 義	吉 武
6	1)2)	【呼吸器系2】 呼吸器系1で学習したことえを踏まえて、病態とあわせて画像診断を考えてみる。	講 義	吉 武
7	1)2)	【呼吸器系3】 呼吸器系1、2とあわせて、3D上で、同様に画像が構築され、病態と結びつくのか考える。	講 義	吉 武
8	1)2)	【循環器系1】 心臓・大血管系の解剖を考え、X線、CTではどのように正常構造が描かれるかを学習する。	講 義	吉 武
9	1)2)	【循環器系2】 循環器系1を踏まえ、病態とあわせて考え学習する。	講 義	吉 武
10	1)2)3)	【循環器系3】 循環器系1、2を踏まえ、画像上での治療効果の判定の利点と限界を学習する。	講 義	吉 武
11	1)2)	【腹部臓器1】 腹部臓器の解剖を考え、X線、CTではどのように正常構造が描かれるかを学習する。	講 義	吉 武
12	1)2)3)	【腹部臓器2】 腹部臓器1を踏まえ、病態とあわせて考え学習する。	講 義	吉 武
13	1)2)	【脊髄・脳神経1】 脊髄・脳神経の解剖を考え、X線、CTではどのように正常構造が描かれるかを学習する。	講 義	吉 武
14	1)2)3)	【脊髄・脳神経2】 脊髄・脳神経1を踏まえ、病態とあわせて考え学習する。	講 義	吉 武
15	1)2)	【MRI】 原理とその表現について、臨床工学科学学生として、重要となる部分を学習する。	講 義	吉 武

教科書(著者名)出版社名[ISBN] 診断画像解剖学テキスト (小谷 正彦) 文光堂【978-4830-64211-1】

参考書(著者名)出版社名[ISBN] 使用しない。

科目名	外書講読Ⅲ			授業コード	110046A301	単位数	1
配当学科(学年)	薬学科(3 年次)			時間数	24	AL 科目	○
担当者	徳永 仁	開講学期	2021 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般目標(GIO)	医療に関連した英語力を身につけるために、世界レベルのガイドライン(アメリカ心臓協会 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン)を英文で読む。ここでは、一般市民においても身近な心肺蘇生法(CPR)、自動体外式除細動装置(AED)の使用法および救命救急処置において使用される薬物などを取り上げる。外書講読Ⅲでは、英文雑誌などから薬剤師として医薬品に関する情報を収集できるようになるために、読解力を修得する。						
到達目標(SBOs)	1)薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。 2)薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。 3)薬の基礎的情報(合成、分析、化学的性質、薬効評価など)を英文で収集し、内容を日本語で記述できる。 薬学準備教育ガイドライン(例示)との対応(2)薬学の基礎としての英語【読む】【書く】【聞く・話す】						
実務経験のある教員による教育	科目担当者は、臨床現場(大学病院薬剤部・調剤薬局など)での 5 年以上の実務経験に基づき、医薬品に関する情報を収集するための効率的な英文読解力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	授業毎の出席テスト(確認テスト)により学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。出席テスト(5%)、AL・SGD などの授業態度(5%)と単位認定試験(90%)により総合的に評価し、単位認定する。レポートを課し、その内容も評価に入れる場合もある。評価の基準は授業開始日に説明する。AL では、予習または復習のための教材を与える。SGD では、話し合いがスムーズに行われるように資料を用意する。疑問があれば個別に対応できるため、オフィスアワーを利用するように。						
準備学習・履修上の注意等	1 回の授業につき 2 時間程度を目安に予習と復習を行うこと。具体例としては、事前に配布する予習プリントの和訳である。講義の始まる前に出席テストを毎回行うので、復習をすること。特に、学生に和訳を求めた内容は必ず復習を行うこと。						
オフィスアワー	月曜～金曜日 18:15～18:45(場所:4 号棟 4 階 M416)						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)2)	「成人に対する CPR」についての英文を読み、説明できる。				講 義	徳 永
2	1)2)	「成人に対する CPR」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
3	1)2)	「バッグマスク法と人工呼吸」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
4	1)2)	「二人の救助者による CPR」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
5	1)2)	「AED の使用法」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
6	1)2)	「AED の使用法」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
7	1)2)	「AED の使用法」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
8	1)2)	「窒息の解除」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
9	1)2)	「窒息の解除」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
10	1)3)	「心停止時における薬物療法」についての英文を読み、説明できる。				講義・SGD	徳 永
11	1)3)	「心停止時における薬物療法」についての英文を読み、説明できる。				講 義	徳 永
12	1)3)	「ガイドライン 2010、2015 および 2020 の変更点」についての英文を読み、説明できる。				講 義	徳 永
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。					

科目名	薬学入門		授業コード	120995A301	単位数	1	
配当学科(学年)	薬学科(1年)		時間数	24	AL科目	○	
担当者	黒川 昌彦	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般目標(GIO)	臨床現場で地域医療や社会の期待に応え、個々の患者や生活者のニーズを正しく把握するために、薬剤師たる資質が必修となる。薬学入門では、地域医療や社会の期待に応え、個々の患者や生活者のニーズを客観的に評価し把握することで医療の実践と進歩に貢献できる薬剤師となるために、医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての資質を醸成する。						
到達目標(SBOs)	1)常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(A1-1-1) 2)患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。(A1-2-1) 3)医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。(A1-3-1) 4)薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。(A1-4-1) 5)患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。(A2-3-1) 6)意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。(A3-1-1) 7)患者や家族、周囲の人々の心身に及ぼす病気やケアの影響について説明できる。(A3-2-1) 8)保健、医療、福祉、介護における多職種連携およびチーム医療の意義について説明できる。(A4-1) 9)薬害被害者の気持ちを理解する。(A1-3-7) 10)医療・医薬品の最新の話について概説できる。 () : 薬学教育モデル・コアカリキュラム対応 SBO						
実務経験のある教員による教育	外部講師は、臨床現場や研究機関での実務経験に基づき、薬剤師としての資質の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	授業における課題により学習の進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組みの姿勢(課題の提出状況、授業態度)を20%、レポートや外部講師による講演の感想文を80%として単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・履修上の注意等	予習・復習は基本的に教科書を用いて行ってください。基礎知識を含めて毎回の授業での疑問点があれば些細なことでも質問するなどしてすぐに解決する態度が必要。毎回の授業前後、週末や長期休暇を使って、目安として21時間以上の予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	日時:毎週月曜～金曜日 12:00～18:00 場所:生化学講座教室						
授業計画							
回数	SBOs No.	授業内容				授業方法	担当
1	1)	医療人としての心構え				講義・SGD	黒川
2	2)	薬剤師が果たすべき役割				講義	外部講師
3	2)	薬剤師が果たすべき役割				講義・SGD	黒川
4	3)	患者安全と薬害の防止				講義	外部講師
5	4)	薬学の歴史と未来				講義・SGD	黒川
6	5)	患者の権利				講義	外部講師
7	6)	コミュニケーション				講義・SGD	黒川
8	7)	患者・生活者と薬剤師				講義	外部講師
9	8)	多職種連携協働とチーム医療				講義	外部講師
10	9)	薬害被害者の声				講義	外部講師
11	10)	医療・医薬品の最新の話				講義	外部講師
12	1)～8)	総括				講義・演習	黒川
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		薬学総論 I. 薬剤師としての基本事項(日本薬学会編)東京化学同人【978-4-8079-1700-6】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	物理学 I			授業コード	110133A301	単位数	1
配当学科(学年)	薬学科(1年)			時間数	24	AL科目	○
担当者	蒲生 修治	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般目標(GIO)	物理学は、自然界で起きている現象を量的にとらえて数学的な関係式で表す学問であり、多くの自然科学分野を理解する基礎となる。物理学 I では、科学の視点で論理的な思考ができる薬剤師となるために、文章題から正しく式を導き正確に計算する能力を修得する。						
到達目標(SBOs)	1) 有効桁数を踏まえた四則演算ができる。 2) 物理で使う単位や 10 の累乗を表す接頭辞の意味を理解し、正しく使うことができる。 3) 組立単位とは何かを、例を挙げて説明できる。 4) 指数関数、対数関数を含む数式の計算ができる。 5) 三角比を含む数式の計算ができる。 6) 数式を正しく微分積分することができる。 7) スカラー量とベクトル量の違いを踏まえ、運動を合成・分解できる。 8) 等速直線運動を数式に表すことができる。 9) 等加速度運動を数式に表すことができる。 10) 力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。 11) 力学的エネルギー保存則に基づき、エネルギーの相互変換を計算できる。 12) 数式を正しく計算し、解を求めることができる。 薬学準備教育ガイドライン(例示)との対応:(4)薬学の基礎としての物理【①基本概念】、【②運動の法則】、【③エネルギー】、(7)薬学の基礎としての数学【①数値の扱い】、【②種々の関数】、【③微分・積分】						
実務経験のある教員による教育	科目担当者(蒲生)は臨床現場での 5 年以上の実務経験に基づき、医療の現場で薬剤師に求められる論理的思考力の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	原則として、単位認定試験の成績を 100%として単位認定を行う。ただし、授業への積極的な参加(挙手・発言など)があった場合には、内容に応じて合計 10 点を超えない範囲で加点する。 ホームワークや課題の未提出等があった場合は、1回につき1点ずつ評価点から減点する。						
準備学習・履修上の注意等	① 学生証を忘れた場合は、授業が始まる前に申し出ること。 ② ホームワークや講義資料を元に学習内容のまとめを作成して復習すること。 ③ 全回のホームワークをファイルしておくこと。質問で来室する際には、そのファイルと授業プリントを持参すること。授業期間終了後でも、単位認定試験の成績に関し、希望者には上記のファイルを使用して個別にフィードバックの面談を行う。またチューター面談にもポートフォリオとして使用するので大切に保管しておくこと。						
オフィスアワー	4号棟5階 M-502 研究室 毎週火・木曜日 17:00~18:00 ただし実習担当期間中は対応できないことがある。						
授業計画							
回数	SBOs No.	授業内容				授業方法	担当
1	1)~3)	物理学を学ぶためのルール①:イントロダクション、単位とは、有効数字の考え方				講義・演習・SGD	蒲生
2	2) 3)	物理学を学ぶためのルール②:大きな数字、小さな数字、単位変換				講義・演習・SGD	蒲生
3	4) 5)	物理学で使う高校数学の復習①:三角比、指数・対数関数				講義・演習・SGD	蒲生
4	6)	物理学で使う高校数学の復習②:微分・積分				講義・演習・SGD	蒲生
5	7) 8)	スカラー量とベクトル量、速さと速度、等速直線運動				講義・演習・SGD	蒲生
6	9)	等加速度直線運動				講義・演習・SGD	蒲生
7	9)	自由落下、鉛直投げ上げ				講義・演習・SGD	蒲生
8	7)	ベクトルの合成・分解、速度の合成・分解				講義・演習・SGD	蒲生
9	7)~9)	水平投射				講義・演習・SGD	蒲生
10	7)~9)	斜方投射				講義・演習・SGD	蒲生
11	10)	運動方程式、仕事				講義・演習・SGD	蒲生
12	11)	力学的エネルギー保存則				講義・演習・SGD	蒲生
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		漆原晃の物理基礎・物理 [力学・熱力学] (漆原 晃/著) 中経出版【978-4-04-600138-2】 教科書以外の内容については、必要に応じてプリントを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	物理学Ⅱ			授業コード	110134A301	単位数	1
配当学科(学年)	薬学科(1年)			時間数	24	AL科目	○
担当者	日高 宗明	開講学期	2021年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般目標(GIO)	薬学は、薬物という物質を対象とする学問として発展してきた。6年制となった現在もその重要性は変わらない。そしてまた、我々の生体自身も物質であり、その物質の特性を理解するためには物理学は不可欠である。物理Ⅱでは、医薬品・化学物質等の物理学的特性を理解するために、そして我々のからだの生理機能、各種医学・薬学診断、放射化学・放射線生物学・放射性医薬品などの物理学的側面を理解できるようになるために、物理学Ⅰよりも深く物理学の基本について理解する能力を養う。						
到達目標(SBOs)	1) 運動の法則について理解し、質量、力、加速度、運動量、力積について説明できる。 2) 仕事とエネルギー、エネルギーの変換について説明できる。 3) 静電気、電場および直流電流の基本的性質について説明できる。 4) 波の基本的性質について説明できる。 5) 原子の基本構造、電子の波動性と光の粒子性について説明できる。 薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：F 薬学準備教育ガイドライン 薬学の基礎としての物理の以下の項目に該当する。 C1(1)【原子・分子】【放射線と放射能】、(3)【電気化学】、(4)【反応速度】						
実務経験のある教員による教育	白崎、日高は臨床現場と教育機関での5年以上の実務経験に基づき、薬学専門科目の修得ならびに臨床現場での実務・臨床研究に必要な物理学の修得を目的とした講義を行う。						
評価方法	適切な時期に小テストを実施し、その結果を元に形成的評価を行う。小テストの記載内容および受験状況によりフィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(配布課題の進捗度、授業中の議論への取り組み、議論内容の発表)の評価を10%、小テストを20%、学期末の単位認定試験を70%として、総合的に評価する。						
準備学習・履修上の注意等	①遅刻、指定時間以外の私語厳禁。 ②講義中のプリントおよび配布課題は必ず自分の力でやり遂げ、指定日時までに完了させること。理解が不十分である問題および項目は、講義終了後には、他人に説明できるようになるまで復習すること。分からない点があれば、友人や教員に積極的に質問し、理解を深めること。単位認定には、授業以外に21時間の準備学習が必要であるため、1コマにつき2時間を目的に復習すること。また、事前に配布した資料について予習することが望ましい。 ③SGDでは間違っても構わないので、積極的に自分の意見を述べる。また周りの学生の意見を聞いてその内容を理解するように務めること。 ④薬学会編の参考書は、物理Ⅰの教科書とともに理解を助け、物理化学や放射化学など専門教育の参考書としても有用であるので、購入することを薦める。						
オフィスアワー	時間：毎週月および金曜日 17:00～18:00 研究室：白崎(M-402)、日高(M-412)						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当		
1	1)	物体に働く力、エネルギー	講 義	日 高		
2	1)	運動エネルギー、位置エネルギー	講義・演習・SGD	日 高		
3	2)	電荷と静電場	講義・SGD	白 崎		
4	2)	静電気エネルギーと電位差	講義・演習・SGD	白 崎		
5	3)	電流、抵抗と電流電圧関係	講義・演習・SGD	白 崎		
6	3)	電気回路	講義・演習・SGD	白 崎		
7	3)	電池と細胞膜電位	講義・演習・SGD	白 崎		
8	4)	波の基本的性質、音の基本的性質	講 義	日 高		
9	4)	電磁波・光の基本的性質	講義・演習・SGD	日 高		
10	5)	原子の基本構造、光の粒子性	講義・SGD	白 崎		
11	4)	物質波	講義・演習・SGD	白 崎		
12	5)	電子の波動性と電子軌道	講義・演習・SGD	白 崎		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		物理系薬学Ⅰ(スタンダード薬学シリーズⅡ-2)(日本薬学会編)東京化学同人【9784807917020】				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		薬学の基礎としての物理学(日本薬学会編)東京化学同人【978-4-807-91652-8】 漆原晃 物理基礎・物理【力学・熱力学】(漆原 晃/著)中経出版【978-4-04-600138-2】				

科目名	生物学			授業コード	110101A301	単位数	1
配当学科(学年)	薬学科(1年)			時間数	24	AL科目	○
担当者	吉田 裕樹	開講学期	2021年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・ 一般目標(GIO)	適切な医療を実践するためには、生命のしくみを理解することが重要である。生命のしくみを理解することは、ヒトの身体、疾患、治療法、薬の作用や副作用を理解することに繋がる。 そこで、生物学では、生命のしくみを分子・細胞・個体レベルで理解して、薬剤師として適切な医療を実践できるようになるために、生命の基本概念(属性)、基本構造(構成成分、細胞)、機能、特徴などに関する知識を修得する。						
到達目標 (SBOs)	1)生物系科目のつながりと学ぶ意義を説明できる。 2)生命の基本属性と仕組みを説明できる。 3)生命の構成成分を説明できる。 4)細胞の構造と機能を説明できる。 5)疾患の発症にかかわる分子基盤と治療法を説明できる。 薬学教育モデル・コアカリキュラム C6-(1)-①-1, 2, -②-1, -③-1, C6-(6)-③-1, 2, C6-(7)-①-1, 2, 薬学準備教育ガイドライン (6)-①-1, 2, 3, 4, 5, ②-1, 2, ④-1, 2, ⑤-1, 2, 3, 6, 7, ⑥-1, 2, 3, 5.						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(吉田)は、海外研究所(研究員)および国内大学病院(薬剤師)での実務経験に基づき、基礎科学の知識が臨床現場でどのように応用・実践されているのか、その繋がりを強調しながら授業を行う。これにより、学生が基礎科学を学ぶ意義を理解し、論理的思考能力を醸成することで、臨床現場における種々の問題の解決能力を修得することを目的とした教育を行う。						
評価方法	中間確認テストの結果をもとに、学習進捗状況や理解度を把握し、レポートおよび中間まとめ演習においてフィードバックを行う。なお、レポート(提出状況、内容、返却受け取り状況)の評価を10%、中間確認テストの評価を30%、学期末の単位認定試験の評価を60%として、総合的に評価し、単位認定を行う。ただし、単位認定試験においては、足切りライン(得点率40%)を設ける。評価の基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	・毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、合計24時間以上の予習・復習を行うこと。(1回の授業につき2時間を目安に予習・復習を行うこと。) ・必ず、授業前後に該当する範囲の教科書を熟読すること。また、参考書等を用いて、問題を多く解くこと。 ・遅刻および授業中の私語は厳禁である。						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日17:00～18:00 研究室(M-524)において。 ただし、他の授業・実習・公務等がある場合は除く。						

授業計画

回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担当
1	1)5)	【生物学・生命科学、生化学を学ぶ意義を考える】 ・薬学で学ぶ生物系科目のつながりと学ぶ意義を理解する。 ・代表的な疾患の分子基盤と治療法の具体例を見ながら、生物系科目の知識が医療で実践されていることを理解する。	講義	吉田
2	2)3)	【生命を構成するもの①】 ・生命の基本属性を理解する。 ・生命を構成する細胞・元素・分子の概要を理解する。	講義	吉田
3	3)5)	【生命を構成するもの②】 ・水と緩衝液の性質を理解する。 ・アシドーシスとアルカローシスと理解する。	講義	吉田
4	4)	【生命を構成するもの②】 ・細胞の種類と構造的特徴を理解する。 ・細胞膜の構造と膜輸送を理解する。	講義	吉田
5	4)5)	【生命を構成するもの③】 ・細胞内小器官の構造と機能を理解する。	講義	吉田
6	4)5)	【生命を構成するもの③】 ・細胞内小器官の構造と機能を理解する。 ・細胞骨格の種類と特徴を理解する。	講義	吉田
7	4)	【生命を構成するもの④】 ・細胞接着構造の種類と特徴を理解する。 ・原核細胞と真核細胞の違いを理解する。	講義	吉田
8	1)～5)	【中間まとめ演習】 ・1～7回のまとめ	講義、演習、SGD	吉田
9	2)	【生命のしくみ①】 ・細胞の増殖の概要を理解する。	講義	吉田、黒川
10	2)	【生命のしくみ②】 ・遺伝と生命情報の概要を理解する。	講義	吉田、黒川
11	2)	【生命のしくみ③】 ・生体エネルギー代謝と酵素の概要を理解する。	講義	吉田
12	2)	【生命のしくみ④】 ・生命の恒常性と環境応答の概要を理解する。	講義	吉田

教科書(著者名)出版社名[ISBN]

薬学領域の生化学 第2版(伊藤晃・藤木博太 編集) 廣川書店[978-4-567-24411-4]
理系総合のための生命科学 第5版(東京大学生命科学教科書編集委員会 編集)羊土社[978-4-7581-2102-6]

参考書(著者名)出版社名[ISBN]

イラストレイテッド ハーパー・生化学 原書29版(清水孝雄 監修、翻訳)丸善出版[978-4621087282]

科目名	薬学数学			授業コード	110186A301	単位数	1
配当学科(学年)	薬学科(1 年次)			時間数	24	AL 科目	○
担当者	白崎 哲哉	開講学期	2021 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>薬学を修得し、国家試験に合格するためには、論理的思考力を見に付けることが極めて重要である。数学は、その論理的思考力を見に付けるうえで最も重要な科目である。また、薬学は自然科学を基礎とする。自然科学とは、万物の事象に横たわる原理・法則を見つけて明らかにする学問である。その過程では、観察結果を数値化し、数式を用いて理解する必要がある。よく薬学の基本は物理・化学・生物にあると言われるが、数学はそれらのさらに根幹をなしている。これらのことから、数学の理解なしに薬学を修めることは不可能である。具体例として、調剤量の計算、単位換算、薬毒物の濃度や pH の計算、薬物体内動態の予測、投与計画の作成、医薬品作用の予測、医薬品の分解速度計算、放射性医薬品の放射能変化予測、医薬品等の分析計算、反応速度の計算、衛生検査や疫学・統計などの計算等枚挙にいとまがない。計算ミスは医療過誤の原因となり健康被害を与えたり、患者を死亡させることにもなる。従って、薬学教育準備ガイドライン(7)において、「薬学を学ぶ上で基礎となる数学・統計学に関する基本的知識を習得し、薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。」とのGIOが掲げられ、計 18 個の SBOs が示されている。薬学数学では、上記能力を身につける第 1 歩として、薬学に必要な中学および高校数学の復習から始め、薬学の実例に応じた文章問題について、自ら式を立てて計算する能力を養うことを目的とする。なお、対話型個別学習支援教材も併用して、数学の基本的事項の習得を行う。</p>						
到達目標(SBOs)	<p>1) 数学の基本ルールを理解し、その説明と基礎的な計算ができる。 2) 大きな数や小さな数を SI 接頭語、指数、および対数を使い、的確に表すことができる。 3) 有効数字の概念を説明し、有効数字を含む値の計算ができる 4) 指数・対数の基本概念を理解し、式とグラフを用いて説明できる。 5) 指数・対数を用いた薬学的応用計算ができる。 6) 微分・積分の基本概念を理解し、基本的な関数の微分・積分計算ができる。 7) 微分・積分を用いた薬学的応用計算ができる。 8) 薬学に關係する科学計算の文章問題が解ける。 薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応：薬学準備教育ガイドライン(7)薬学の基礎としての数学・統計学①～③に該当</p>						
実務経験のある教員による教育	白崎・日高は臨床現場と研究機関での 5 年以上の実務経験に基づき、薬学専門科目の修得ならびに臨床現場と薬学関連領域の基礎および臨床研究に必要な数学の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	基礎数学力の修得状況は、対話型個別学習支援教材(e-learning)の小テストにより評価する。対話型個別学習支援教材の学習は、約 2 週間を単位に学習期間を設定し、その学習期間終了直後に小テストを 1 回づつ行なう。正当な理由なく小テストを欠席した場合は、その回の成績を 0 点とする。各回の小テストにおいて、成績不良の場合は補習を行う。ただし、小テストの成績が 80 点以上(小・中・高の区分がある場合は、各区分でいずれも 80 点以上)の場合は、補習を免除する。正当な理由なく補習を欠席した場合は、期末試験の受験資格を与え						
準備学習・履修上の注意等	<p>① e-learning 教材、授業中に配布するプリント、補習教材等で演習を行う。ただし、e-learning 教材の学習は、授業外の課外学習とする。 ② e-learning 教材は、レクチャーを必ず聞き、レクチャーの内容に沿って自力でドリルを解くこと。また、授業中に配布するプリントおよびホームワークの演習問題も、まず、どのように計算すると良いか計算の手順・筋道をよく考え、戦略を立ててから、必ず自分の力で解くこと。その上で、解答できなかつたり、計算を間違えた問題は、なぜ解答できなかったか自分の弱点を自ら書きだして明確にし、完全に答えられるよう何度も復習すること。わからない部分は友人や教員に積極的に質問すること。 ③ 単に計算ができれば良いわけではない。関数などの数学の概念や、計算式、計算過程、計算手法などの意味を確実に理解すること。 ④ 理解せず解答課程を意味なく丸暗記しても、単位は取れない。 ⑤ ドリルや演習問題の計算に決して電卓を使わないこと。試験の際は、電卓持ち込み不可。国試においても、もちろん不可。計算能力を身につけるには繰り返し自分で計算するしかなく、自分で計算することにより、簡単に計算する要領も身に付く。正確ですばい計算力を身に付けずして薬学数学の単位取得は不可能である。 ⑥ e-learning 教材の小テスト結果は、その都度チューターに通知する。また、小テスト後の補習は、ユニバーサルパスポートの掲示にて指示する。見落としに注意すること。 ⑦ 提出物の提出や返却物の受取が正当な理由なく遅れた場合、平常点(受講態度)から減点する。 ⑧ 単位認定には、授業以外に 21 時間以上の準備学習が必要である。e-learning 教材の学習、補習課題、ホームワークその他の課外学習課題は、その準備学習の時間に充当する。 ⑨ 遅刻、およびスモールグループディスカッションとして指定された時間以外の私語は、厳禁。</p>						
オフィスアワー	月曜～金曜日 17:00～18:00(ただし、実習中を除く) 白崎 4 号棟 4 階 M402 号室 日高 4 号棟 4 階 M412 号室						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)~8)	1. 導入 なぜ薬学で数学を学ぶか 2. 統一試験の復習(文章題) 3. SI 国際単位				講義・演習	白崎、日高
2	1)~3), 8)	濃度計算、単位変換、有効数字				講義・演習	白崎、日高
3	1)~3), 8)	調剤の計算-1				講義・演習	白崎、日高
4	1)~3), 8)	調剤の計算-2				講義・演習	白崎、日高
5	1)~5), 8)	指数計算				講義・演習	白崎、日高
6	1)~5), 8)	1~5 回の総合演習(文章題)				講義・演習	白崎、日高
7	1)~5), 8)	対数計算				講義・演習	白崎、日高
8	1)~5), 8)	pH 計算				講義・演習	白崎、日高
9	1)~8)	微分計算				講義・演習	白崎、日高
10	1)~8)	積分計算				講義・演習	白崎、日高
11	1)~8)	7~10 回の総合演習(文章題)				講義・演習	白崎、日高
12	1)~8)	7~10 回の総合演習(文章題)				講義・演習	白崎、日高
教科書(著者名)出版社名[ISBN]	使用しない。						
参考書(著者名)出版社名[ISBN]	<p>わかりやすい薬学系の数学入門 安西 和紀 他 著 講談社 [978-4061536999] わかりやすい薬学系の数学演習 岩崎 祐一 他 著 講談社 [978-4061563193] その他、中学・高校で用いた参考書・問題集等</p>						

科目名	一般用医薬品学演習			授業コード	120147A301	単位数	1
配当学科(学年)	薬学科(5年)			時間数	24	AL科目	○
担当者	園田 純一郎	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	必修(2016カリ) コース別選択必修	授業形態	講義・ロールプレイ
授業の概要・ 一般目標(GIO)	一般用医薬品学演習では、適切な薬物治療および地域の保健・医療に貢献できるようになるために、一般用医薬品およびセルフメディケーションに関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を収集し、適切に情報提供をするためのコミュニケーション技能・患者対応の基本的態度を修得する。						
到達目標 (SBOs)	1) 一般用医薬品について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。(E2-9-2) 2) 一般用医薬品の選択、受診勧奨の要否を判断するために必要な患者情報を列挙できる。(E2-9-4) 3) 頭痛、アレルギー性鼻炎に用いる一般用医薬品に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。(E2-9-5) 4) 一般用医薬品の代表的な相互作用を説明できる。(E2-9-7) 5) 症例に応じた一般用医薬品の選択又は受診勧奨ができる。(E2-9-5) 6) 一般用医薬品の適正使用に関する説明ができ、模擬患者への適切な指導ができる。(E2-9-2~5) 7) 一般用医薬品の有用性に関するエビデンスを示すことができる。(E2-9-7~8) 8) 運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む養生法とその健康の保持・促進における意義を説明できる(E2-9-6) 9) 禁煙指導に必要な事項を説明できる。 10) 模擬患者に対する適切な禁煙指導ができる。 11) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。(F(2)-4-1) 12) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴副作用歴等)を適切に聞き取ることができる。(F(2)-4-10) 13) 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全カル有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる(F(2)-4-12) (): 薬学教育モデル・コアカリキュラム対応 SBO						
実務経験のある 教員による教育	担当教員は、いずれも医療現場での勤務経験があり、患者への説明・指導の経験も豊富である。このため、一般用医薬品と医療用医薬品の相違点を明確にし、一般用医薬品を患者へ勧める際の説明や服薬指導までを実践的に、かつ一貫して学生に教育できる。						
評価方法	期末試験の点数(80%)、評価表に基づいた実技評価および学習態度(20%)で単位認定する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時間外に21時間の学習を行うこと。						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日 16:30～18:00 担当教員の講座・研究室にて						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)2)3)4)	頭痛の分類、その特徴と対応法、および、頭痛用一般用医薬品の種類と特徴について学ぶ。				講 義	緒方・園田
2	5)	頭痛を訴える顧客に対する適切な一般用医薬品選択の実践(症例検討)				演 習	緒方・園田
3	6)11)1)2)	模擬患者と信頼関係を築きつつ、インタビューを通して頭痛用一般用医薬品選択に必要な情報を収集する。				実技、ロールプレイ	園田・緒方・満生
4	4)6)7)8)11)13)	収集した情報を基に、適切な頭痛用一般用医薬品を選択し、模擬患者に対して服薬指導および適切な助言を行う。				実技、ロールプレイ	園田・緒方・満生
5	1)2)3)4)	鼻炎(主にアレルギー性鼻炎)の分類、その特徴と対応法、および、鼻炎用一般用医薬品の種類と特徴について学ぶ。				講 義	緒方・園田
6	5)	鼻症状を訴える顧客に対する適切な一般用医薬品選択の実践(症例検討)				演 習	緒方・園田
7	6)11)1)2)	模擬患者と信頼関係を築きつつ、インタビューを通して鼻炎用一般用医薬品選択に必要な情報を収集する。				実技、ロールプレイ	園田・緒方・満生
8	4)6)7)8)11)13)	収集した情報を基に、適切な鼻炎用一般用医薬品を選択し、模擬患者に対して服薬指導および適切な助言を行う。				実技、ロールプレイ	園田・緒方・満生
9	7)	薬剤師が行う禁煙支援の意義と、実践に必要な基本概念・顧客へのアプローチ法について学ぶ。				講 義	園 田
10	8)	禁煙補助薬について学ぶ。				講 義	園 田
11	9)	禁煙を希望する模擬患者に対して、信頼関係を築きつつ、インタビューを通して禁煙支援に必要な情報を収集する。				実技、ロールプレイ	園田・緒方・満生
12	9)	収集した情報を基に、適切な禁煙補助薬を選択し、模擬患者に対して禁煙補助薬に関する説明および適切な禁煙支援を行う。				実技、ロールプレイ	園田・緒方・満生
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		授業時に配布するプリントを使用する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		OTC あるいは一般用医薬品に関する書籍があれば持参する					

科目名	英語コミュニケーション		授業コード	110031B501	単位数	2	
配当学科(学年)	生命医科学科 (2年)		時間数	30	AL科目	○	
担当者	橋本 亜衣子	開講学期	2021年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般目標(GIO)	医療現場で必要とされる基礎的な英語力を向上させ、外国人患者との英語でのコミュニケーションを可能にする						
到達目標(SBOs)	1. 英語を話す、聞く、読む、書く力を高め、医療現場で必要とされる英語の基礎を習得する 2. 英語の専門語彙を増やす 3. 患者からの情報収集や指示、患者への情報提供等、医療場面でのコミュニケーションに必要なフレーズ、表現を習得する						
実務経験のある教員による教育	担当者は医療機関での10年間の実務経験、国外での6週間の実務研修経験に基づき、実践に応用可能な授業を展開していく						
評価方法	授業への取り組み姿勢(40%)、学期末テスト(60%)により評価						
準備学習・履修上の注意等	・教科書付属のCDを活用し、予習・復習を行うこと ・授業に積極的に参加すること						
オフィスアワー	授業前後に講義室において実施						

授業計画

回数	SBOs No.	授 業 内 容	授業方法	担当			
1	1,2,3	オリエンテーション, 挨拶・自己紹介	講義・演習	橋 本			
2	1,2,3	身体の部位	講義・演習	橋 本			
3	1,2,3	身体症状の表現	講義・演習	橋 本			
4	1,2,3	病名・検査名	講義・演習	橋 本			
5	1,2,3	検査に関する説明①	講義・演習	橋 本			
6	1,2,3	検査に関する説明②	講義・演習	橋 本			
7	1,2,3	患者への質問	講義・演習	橋 本			
8	1,2,3	患者への依頼・指示	講義・演習	橋 本			
9	1,2,3	ロールプレイ	講義・演習	橋 本			
10	1,2,3	病院の案内, 方向・位置の表現	講義・演習	橋 本			
11	1,2,3	緊急時・災害時の対応	講義・演習	橋 本			
12	1,2,3	ロールプレイ	講義・演習	橋 本			
13	1,2,3	医療英語読解・英文作成①	講義・演習	橋 本			
14	1,2,3	医療英語読解・英文作成②	講義・演習	橋 本			
15	1,2,3	総括	講義・演習	橋 本			
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		医療スタッフのための英会話 (バレ出版)【978-4-86064-475-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		特になし					

科目名	分子生物学			授業コード	110178B501	単位数	2
配当学科(学年)	生命医科学科(1年)			時間数	30	AL科目	
担当者	三苦 純也	開講学期	2021年度 後期	必修・選択	選 択 ※旧 かり必修	授業形態	講 義
授業の概要・ 一般目標(GIO)	「分子生物学」とは様々な生命現象を、分子遺伝学などを基に、分子レベルで解明しようとする現代生物学の学問分野である。本講義では、まずセントラルドグマである DNA の複製、RNA への転写、タンパク質への翻訳の詳細を学ぶ。次に、自然に起こる遺伝子の変異がもたらす利点(多様性)や欠点(病気)と、人工的に変異を起こし、それを利用する遺伝子工学の技術について学習していく。						
到達目標 (SBOs)	1) 生物とは何かを説明できる。 2) セントラルドグマを説明できる。 3) DNA、遺伝子、ゲノム、染色体の違いを説明できる。 4) 核酸の種類やその構成成分について説明できる。 5) ヌクレオチドの合成と分解について説明できる。 6) 複製、転写、翻訳の機構を説明できる。 7) ファージあるいはプラスミド DNA とゲノム DNA の違いについて説明できる。 8) 遺伝子の損傷と突然変異の種類について列挙し、説明できる。 9) DNA の修復機構について説明できる。 10) RNA のプロセッシングについて説明できる。 11) タンパク質の合成について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、分子細胞生物学系の研究機関での 15 年以上の実務経験に基づき、最新の生物学の知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価方法	レポートおよび小テスト 30%、定期試験 70%						
準備学習・ 履修上の注意等	生物学・生化学で出てきた言葉を復習しておいてください。 普段の講義でも復習を重点的に行い、わからないことを放置しないようにしてください。						
オフィスアワー	木曜日 14:00 ~ 16:00 がん細胞研究所にて						
授業計画							
回数	SBOs No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)	生物とは				講 義	三 苦
2	2)3)	セントラルドグマとゲノムの構造				講 義	三 苦
3	3)4)	核酸の種類と構造				講 義	三 苦
4	4)5)	ヌクレオチドの合成				講 義	三 苦
5	4)5)	ヌクレオチドの分解				講 義	三 苦
6	6)	DNA の複製 1				講 義	三 苦
7	6)	DNA の複製 2				講 義	三 苦
8	7)	ファージ DNA とプラスミド DNA				講 義	三 苦
9	8)	DNA の損傷と突然変異				講 義	三 苦
10	9)	DNA の修復				講 義	三 苦
11	6)	転写				講 義	三 苦
12	6)	転写調節				講 義	三 苦
13	10)	RNA のプロセッシング				講 義	三 苦
14	11)	翻訳				講 義	三 苦
15	1)-11)	総まとめ				講 義	三 苦
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		わかる!身につく! 生物・生化学・分子生物学 改訂 2 版 田村 隆明 南山堂 (978-4525131425)					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		細胞の分子生物学 第 6 版 Bruce Alberts 他著 ニュートンプレス(ISBN: 978-4315520620)					

ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ／相談援助の理論と方法Ⅰ

専門教育科目／2単位／T授業

担当教員 児崎 友美

■使用テキスト

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第12巻 ソーシャルワークの理論と方法」

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

本講座では、「相談援助の基盤と専門職」で学んだ内容について基礎的な項目を再度復習すると共に、実践に近づくことを目的に事例を中心として授業を展開していく。

そこで、本講座受講生は、能動的に事例に取り組み、即ち自らがソーシャルワーカーの立場として課題に取り組むことを期待します。

課題の提示の方法としては、基礎的な項目に対する知識の再点検と事例を下にどのような援助計画や実践を提示していくかということを問う内容を提示していきます。

さらに、制度・政策的な流れについても理解を深め、ソーシャルワーク展開の分野についての特徴についても合わせて理解を深めて下さい。

到達目標

- 1) 本講座では、相談援助の基礎的なことを再度確認することで、ソーシャルワーカーにとって「相談援助」の展開過程を説明できる
- 2) 他の専門職が行う「相談」と何がどう違うのかを理解し、その特徴についても合わせて説明できる

実務経験のある教員による教育

科目担当（児崎）は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践に必要な相談援助の理論と方法についての知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワークとは

この章ポイント

本章では、「ソーシャルワークで用いられる理論と概要」について学ぶことを目的としている。ソーシャルワーカーが強みとする「人」「環境」「人と環境の交互作用」の3者に視点を置く根拠や、ソーシャルワーカーとしての考え、語り、行動する際のよりどころとなることを理解し、実践に活かせるようにする。

第2章 ソーシャルワークの過程 —ケース発見とエンゲージメント（インテーク）—

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの展開、特に最初の段階について理解する。その際、困難な状況にある人が援助を受けることを決断するプロセスとソーシャルワーカーに出会うまでの経路について学ぶ。次に、ソーシャルワーカーがクライアントと出会って初めに行うエンゲージメント（インテーク）について学ぶ。援助が必要な人の中には、様々な事情で援助を求めない人がいるため、そのような人たちへのかかわり方についても学ぶ。

第3章 ソーシャルワークの過程 —アセスメント—

この章ポイント

本章では、アセスメントの意義と方法、留意点を理解することを目的としている。このアセスメントにおいては、第1章で学んだ理論とモデルがアセスメントを支えていること、そして実際の技法に活かされていることを意識して欲しい。

第4章 ソーシャルワークの過程 —プランニング—

この章ポイント

本章では、ソーシャルワークの原理と理論・モデルに基づいて、目的、目標、計画内容を設定する方法を学ぶことが目的である。プランニングは、連携や協働の要ともなるものなので留意点についても注意して欲しい。

第5章 ソーシャルワークの過程 —支援の実施とモニタリング—

この章ポイント

本章では、計画を実施するとともに、計画が適切に実施されているか、それによって目標達成に向かって進んでいるかなど、プロセスを確認するためのモニタリングの手続きと留意点について学ぶ。併せて、効果測定の意味と意義についても学ぶ。

第6章 ソーシャルワークの過程 —支援の終結と結果評価、アフターケア—

この章ポイント

本章では、支援の終結を迎えるにあたり行うことを学ぶ。また、支援の全体をふりかえって適切な実践ができたか、実践の効果があったかなど、評価を行う重要性についても学ぶ。したがって、支援の終結、結果評価、アフターケアの考え方や方法を学ぶことが目的である。

第7章 相談援助のためのアウトリーチの技術

この章ポイント

本章では、ソーシャルワーク援助過程における、アウトリーチについて理解を深めることを目的とする。アウトリーチ手法は今後ますます必要とされることが予測され、特に地域包括支援センターの社会福祉士にとって重要な手法でもある。

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

本講座では、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰで学んだことを土台として、社会福祉士の専門性をさらに深める内容を学びます。具体的には、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を理解し、ソーシャルワーク対象レベル（ミクロ・メゾ・マクロ）への支援の実際と関連性を理解していきます。

そのことから、ジェネラリストの視点で総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容を深めていき、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能や専門職としてのあり方を考えていきます。

全体を通して、ソーシャルワーク専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになります。

添削課題は、テキストを基本として作成しています。各章に該当するテキスト巻末の索引を利用して、テキストを活用しながら添削課題に取り組み、全体を把握するようにしてください。

到達目標

- 1) 社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。
- 2) ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。
- 3) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。
- 4) 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当（川崎）は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、ソーシャルワークの基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰは、テキスト第1章から第5章を範囲とする。
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱは、テキスト第6章から第8章を範囲とする。

第6章 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲

社会福祉士の職域と役割
多様な組織・機関・団体における専門職
諸外国の動向

第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク

ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象
ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開

第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容

総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点
ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ放火知的な支援の意義と内容
多職種連携及びチームアプローチの意義と内容

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

本講座では、社会福祉士と精神保健福祉士いずれの専門職にも共通して求められるソーシャルワークの基盤となる概念や専門性を理解することを目標とします。

したがって、社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけやそれぞれの役割と意義を学び、専門性を理解していきます。これまでの実践と理論化により獲得してきたソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、ソーシャルワークの歴史的形成過程を学びます。

そのことから、今日求められている「総合的かつ包括的な支援」の全体像を理解し、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能の内容を学び、専門職としてのあり方を考えていきます。

全体を通して、ソーシャルワークの専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになりましょう。

到達目標

- 1) 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。
- 2) ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。
- 3) ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当（川崎）は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、ソーシャルワークの基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰは、テキスト第1章から第5章を範囲とする。

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱは、テキスト第6章から第8章を範囲とする。

第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ

社会福祉士及び介護福祉士法の理解（定義・義務・法制度成立の背景等）

精神保健福祉士法の理解（定義・義務・法制度成立の背景等）

社会福祉士及び精神保健福祉士に求められるコンピテンシー

第2章 ソーシャルワークの概念

ソーシャルワークの定義

ソーシャルワークの構成要素

第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方

ソーシャルワークの原理

社会正義・人権尊重・集団的責任・多様性の尊重

ソーシャルワークの概念

当事者主権・尊厳の保持・権利擁護・自立支援・エンパワメント・ノーマライゼーション

ソーシャルインクルージョン・

第4章 ソーシャルワークの形成過程

ソーシャルワークの源流と基礎確立期

ソーシャルワークの発展期

ソーシャルワークの展開期と統合化

日本におけるソーシャルワークの形成過程

第5章 ソーシャルワークの倫理

専門職倫理の概念

倫理綱領

ソーシャルワーカーの倫理綱領

社会福祉士の倫理綱領

精神保健福祉士の倫理綱領

倫理的ジレンマ

地域福祉の理論と方法

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 山崎 睦男

■使用テキスト

福祉士養成講座編集委員会(編)『新・社会福祉士養成講座第9巻 地域福祉の理論と方法 第3版』中央法規出版 2015

◆参考テキスト資料等

日本地域福祉学会(編)「新 地域福祉事典」中央法規 2006
厚生労働省「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会」報告書 2000
厚生労働省・援護局「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」2008
社会福祉法
厚生労働省「社会保障審議会生活困窮者の生活支援のあり方に関する特別部会報告書」2015
厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部関係資料」2016～
「月刊福祉」全国社会福祉協議会 毎月発行

講義概要・一般目標

地域福祉の理論と方法では、地域福祉の歴史的展開を踏まえ、新しい地域福祉の展開について、その理論、方法を体系的に理解する。また、地域での自立生活を支援していくためのサービスシステム、地域ケアのあり方や地域福祉の主体形成の意義、推進体制の展開方法などを修得する。

なお、本科目に関するテキストをはじめ、参考テキスト・資料等により、基本的知識や地域福祉の動向を修得する。

到達目標

- 1) 新しい社会福祉システムについて説明できる
- 2) 地域福祉の基本的考え方を説明できる。
- 3) 地域福祉の主体形成と福祉教育の方法について説明できる。
- 4) コミュニティソーシャルワークと専門職の役割について説明できる。
- 5) 行政組織と民間組織の役割の実際について説明できる。
- 6) 住民の参加と方法について説明できる。
- 7) ソーシャルサポートネットワークについて説明できる。
- 8) 地域における社会資源の活用・調整開発について説明できる。
- 9) 地域における福祉ニーズの把握方法について説明できる。
- 10) 地域トータルケアシステムの構築と実際
- 11) 地域における福祉サービスの評価方法について説明できる。
- 12) 災害支援の考え方と地域福祉のあり方について説明できる。
- 13) 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方を説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当者(山崎)は、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉の理論と方法」の習得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 新しい社会福祉システム

この章のポイント

日本の戦前・戦後復興期の地域福祉の歴史を学び、社会福祉における新しい考え方および新しい福祉サービスシステムとしての位置づけを理解する。

第2章 地域福祉の基本的な考え方

この章のポイント

1960年代の地域福祉の概念化と理論化からその後の地域福祉論の展開を学び、地域福祉における地域の捉え方や地域福祉のあり方など基本的な考え方を学ぶ。

第3章 地域福祉の主体と福祉教育

この章のポイント

地域福祉推進にとって、福祉教育は欠かせない重要な理念であり方法の一つであることを理解し、地域福祉の主体形成の意味について理解する。

第4章 行政組織と民間組織の役割と実際

この章のポイント

社会福祉サービスの提供組織は、行政や社会福祉法人、社会福祉協議会をはじめ民間組織や団体へと拡大してきている現状において、地域福祉の推進に果たす役割について検証するとともに、地域福祉計画や地域福祉活動計画についての概要を理解する。

第5章 コミュニティソーシャルワークと専門職の役割

この章のポイント

新たな地域福祉実践の考え方として、コミュニティソーシャルワーク機能が必要とされている。その基本的な展開プロセスを学び、それぞれの専門職の役割を理解する。

第6章 住民の参加と方法

この章のポイント

地域福祉の推進主体として、地域住民が位置づけられるが、その住民参加の意義と役割、方法について理解する。

第7章 ソーシャルサポートネットワーク

この章のポイント

地域福祉実践の視点から、地域における生活者としてサービス利用者を支援していくための方法について、ソーシャルサポートネットワークの考え方とその活用方法について理解し、コミュニティソーシャルワークの実際を学ぶ。

第8章 地域における社会資源の活用・調整・開発

この章のポイント

地域福祉を推進していくためには、保健・医療・福祉に限らず、教育・環境・産業などの資源の活用が求められている現状にあることから、社会資源をどのように捉え活用していくのか、また、新たな社会資源の開発も含めてその展開方法を学ぶ。

第9章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際

この章のポイント

地域における福祉ニーズは、複雑化、多様化、潜在化している状況にあり、地域の特性を踏まえどのようなニーズがあるのかを理解するとともに、ニーズを把握する方法を学ぶ。

第 10 章 地域トータルケアシステムの構築と実際

この章のポイント

地域での自立生活を支援するための地域トータルケアシステムの必要性について理解し、そのシステムの構築のために保健・医療・福祉の連携のあり方、その展開方法を学ぶ。

第 11 章 地域における福祉サービスの評価方法と実際

この章のポイント

個人の尊厳と自己実現を目指す福祉サービスの提供のあり方は、質量ともに高いものが求められる。質を確保し、向上させていくための取り組みとして、どのような評価方法を確立していくことが必要であるのか、福祉サービスの評価方法を理解する。

第 12 章 災害支援と地域福祉

この章のポイント

災害支援の考え方、法制度や災害後の生活課題を理解することにより、災害支援に求められる地域福祉実践の視点や方法について学ぶ。

第 13 章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方

この章のポイント

日本の地域福祉は、イギリスやアメリカなどの影響を受けながら発展してきた経緯があり、諸外国での理論や実践を学ぶとともに、グローバル化が進む今日において、国際的な視点ももった地域福祉の推進方法を理解する。

高齢者に対する支援と介護保険制度

専門教育科目／4 単位／T 授業

担当教員 兒崎 友美

■使用テキスト 社会福祉士養成講座編集委員会(編)
『新・社会福祉士養成講座第 13 巻 高齢者に対する支援と介護保険制度 第 6 版』
中央法規出版 2019

◆参考テキスト 各自が必要に応じて改正介護保険に関する書籍を参考にしてください。

講義概要・一般目標

本科目を理解するには、次の 4 つの柱を体系的に理解することが必要である。一つは高齢者の心身の特性と彼らを取り巻く社会的な状況の確認である。特に社会的特性は少子高齢社会との関係性が重要になってくる。

二つ目が高齢者に関する法体系の発展と現行制度、関連諸施策及びサービスの理解である。2000 年に介護保険法が施行され、大幅な改革が行われた。今回のテキスト改正では介護保険が大きな柱の一つとなっている。これらのことについて、理解を深めることが必要である。

三つ目は、実際に高齢者を援助する方法である。援助技術、専門職の役割と実際に学ばなければならない。

四つ目は、介護に関する理解である。介護に関しては今まで老人福祉論では取り扱われていなかった。今回、社会福祉士が連携する対象として介護の理解を深める事が求められる事となった。

到達目標

- 1) 学生は、高齢者の心身の特性と彼らを取り巻く社会的状況について理解し、説明することができる。
- 2) 学生は、高齢者に関する明治以降近代の法体系の発展と現行制度を理解し体系化することができる。
- 3) 学生は、高齢者に関する介護保険を含む連諸施策を理解し、サービスを利用しようとする人に説明することができる。
- 4) 高齢者を援助する社会福祉援助技術を習得し、実際に援助することができる。
- 5) 介護に関する知識を習得し、介護専門職と連携することができる。

実務経験のある教員による教育

科目担当(兒崎)は、福祉現場である特別養護老人ホームに 3 年、地域包括支援センターに 13 年という期間、社会福祉士の実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、「高齢者に対する支援と介護保険制度」にかかわる知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 高齢者の特性

この章のポイント

高齢者とその老いを理解するための三つの側面を提示してある。その三つとは高齢者の社会的な特性及び身体的な特性、そして精神や心理に関わる特性である。さらに、高齢者を一人の統合された人間として理解する視点が提示されている。

第1節 高齢者の社会的理解

本節では、高齢期における生活の変化と適応、家族と社会関係、社会参加と生きがい及び高齢者の安全と差別が取り上げられている。まず、生活の変化と適応では、高齢化率や高齢者を前期高齢者・後期高齢者と区分する理由また、複合喪失について学ぶ。家族と社会関係では、家族と世帯の違い、家族意識の変化、ソーシャルネットワークとソーシャルサポートについて学ぶ。社会参加と生きがいで、社会参加の定義、プロダクティブ・エイジングを学ぶ。さらに、活動と活動能力をADLとIADLから考え、生きがいと生活の質では、サクセスフルエイジング、生きがい、生活の質を学ぶ。安全と差別では、被害者となる高齢者の背景また、エイジズムやジェンダーと女性差別などからわが国で伝統的に儒教思想の元で比較的高いと言われた高齢者の地位が揺らぎ、一層不透明になっていく方向性が述べられている。

第2節 高齢者の身体的理解

加齢に伴う身体機能の変化、基礎的運動能力の変化を学ぶ。

第3節 高齢者の精神的理解

高齢者のイメージ、心理的特徴、心の病気が述べられている。20代～60代の6千人の国民に対し、高齢者のイメージについて尋ねた質問では、心身の衰え、健康面での不安が大きいと回答した者が最も多かった。また、自分の高齢期の生活に不安を感じている者が80.6%いるなど、高齢者に対するイメージがあまりよくないことが伺われる。心理的特徴として、脳の変化、精神機能の老化があげられ、精神機能の老化では、知能の変化、感情の老化、意欲の老化があげられている。さらに、心の病気では、その原因と代表的な心の病気があげられている。軽度認知機能障害、うつ気分、老年期うつ病、せん妄があげられている。

第4節 高齢期の総合的理解

生涯発達の意味、人生と社会変動、死とスピリチュアリティがあげられている。特に団塊の世代の理解は重要である。高齢者は死と向き合う時期であり、これについても学ぶことも不可欠である。

第2章 少子高齢社会と高齢者

この章のポイント

現代日本や世界において、高齢者世代がどのような特性を持っているか理解を深める。前半では、少子高齢化の社会的影響、高齢者の平均寿命の変化や人口に占める高齢者の比率の変化について、その背景と地域社会や家族への影響さらに、社会の構成や発展を考察する。後半では、ライフサイクルの変化、生活課題、疾病や介護の問題、生活費、職業・生きがいなど全体像に対する考察を行う。高齢者支援という立場からは、問題の発生を予防する視点を持って学ぶ。

第1節 少子高齢社会問題

少子高齢社会、高齢化の国際比較、我が国の高齢化の状況を学ぶ。我が国は、諸外国に経験がない程短時間に極めて高度な高齢化が進行することを念頭に、その影響を学ぶ。また、少子高齢化の要因として、出生率の低下、平均寿命の伸長を数値をもって理解する。地域間格差では日本の都市と地域の高齢化の格差とその原因を学ぶ。家族の状況では、家族規模・家族構成、一人暮らし高齢者について学ぶ。我が国は小世帯化が急速に進み、高齢者も例外ではない。また、この傾向は今後も継続することが見込まれている。おのずと家族に期待されていた家族機能は低下し、それを社会的支援によって、補填することが求められているといえる。

第2節 高齢者を取り巻く諸問題

健康、介護問題、経済的問題が取り上げられている。健康問題では、健康寿命、有訴者率、受療率などを学ぶ。介護問題では、要介護者、認知症、高齢者虐待を学ぶ。経済的問題では、所得状況、貯蓄の分布とともに生活保護受給者について学ぶ。また、高齢者労働と就業状況等についても学ぶ。さらに、生活意識の諸問題についても学ぶ。現代の高齢者は、かつてない高齢社会の元で先人を手本とできない社会を生きている。モデルのない高齢期の中でさまざまな問題を背負い、それを解決しながら進んでいかなければならない。

第3章 高齢者保健福祉の発展

この章のポイント

高齢者の人生や生活を支える社会の仕組みの起源を知り、それらの今日的意義や後世への影響を検証する。高齢者保健福祉の制度を時系列的に整理し、今後、さらに進展する少子高齢社会に求められる制度を考える際の手がかりとする。さらに、高齢者の生命や生活に関連する法制度を体系的に把握し、制度の位置づけを明らかにし、生活の質の観点からその意義・役割を考える。

第1節 高齢者保健福祉の起源と生成

古代から近代までは様々な資料が保存され、解釈がなされているが、高齢者の暮らしが歴史上に注目された様子はあまりない。近代の高齢者福祉としてあげられるのは恤球規則である。明治政府が出した法であり、高齢者に対してはじめて明文化されたものである。明治期の高齢者施設は、17施設が民間で設立されている。救護法が1929年に制定されたが、具体的な動きは見られない。1938年社会福祉事業法が制定され、第1条で養老院が社会事業として位置づけられたが、財政的には空疎であった。戦後は、生活保護法下で養老施設が位置づけられ、1963年老人福祉法の制定までは、唯一の老人福祉施設として存在した。

第2節 高齢者保健福祉制度の発展

①第二次世界大戦から昭和30年代まで、②昭和40～60年代、平成に入ってから、③基盤整備の時代と、④介護保険創設に関する世代に分けて解説してある。①では、新憲法の下、生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法などの法律が整備され、昭和30年代には国民年金法、国民健康保険法が制定され、国民皆保険制度のスタートとなった。さらに、老人福祉法が成立し、応能負担による措置制度の元で老人ホームが位置づけられた。在宅サービスでは、老人家庭奉仕員派遣制度がスタートしている。②では高齢化社会に突入し、福祉元年と呼ばれる医療費の自己負担が無料となるサービスが開始された。ショートステイ、デイサービスなどの在宅福祉が登場する。老人保健法が登場し、老人保健施設が創設される。長寿社会の過渡期と位置づけられる。長寿社会政策大綱が閣議決定される。③では、高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略(ゴールドプラン)が発表され、高齢者介護の基盤整備がめざましく進展した。市町村老人保健福祉計画が策定された。1994年には、新高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略(新ゴールドプラン)が策定された。介護サービス基盤に整備目標の引き上げが行われるとともに、老人訪問看護などの新サービスが開始された。④では、高齢社会対策基本法が施行され、高齢社会の対策が総合的に構築されていた。1997年介護保険法が可決、公布され、2000年に施行された。1999年今後5ヵ年間の高齢者保健施策の方向(ゴールドプラン21)が発表された。ここでは、介護予防に重点が置かれることとなった。今後とも高齢化の進展が予測される社会の中で、介護の社会化が促進される方向にあるが、一方持続的な制度という意味では、急速に膨らむ社会的費用への配慮も必要となっている。医療においても同じく、高齢者の医療の確保に関する法律が施行されたが、制度に対する否定的な意見が多いのも事実である。

第4章 高齢者支援の関係法規

この章のポイント

我が国の高齢者支援の関係法規、我が国の法体系の整備は1963年の老人福祉法に始まり、その他、老人保健法、介護保険法などの成立の基礎となった。加えて、高齢者を支援するその他の法規・制度を学ぶ。具体的には、成年後見制度や高齢者虐待法である。また、後期高齢者医療制度やバリアフリー新法、高齢者住まい法、生涯学習と社会参加に関する諸制度なども学ぶ。

第1節 高齢者保健福祉の法体系

本節では、①高齢社会対策基本法の概要、②高齢社会対策大綱の概要が示されている。

第2節 老人福祉法

本節は、老人福祉法成立の経緯、老人福祉法の構成、総則の主な内容、福祉の措置、老人福祉計画、有料老人ホーム、その他の規定で構成させている。特に、重要なのは、法の目的及び基本理念である。また、措置の内容として、実施者やサービスを学ぶ。老人福祉計画は都道府県と市町村で別に定める。近年、有料老人ホームに関する問題が注目されている。その他の規定としては福祉事務所に関する規定がある。

第3節 高齢者の医療の確保に関する法律

本節は、成立の背景、成立の経緯、主な内容、高齢者医療制度をめぐる動向と課題があげられている。様々な検討を重ね、成立した法律ではあるが、見直しが2014年3月まで凍結されていた。しかし、社会保障国民会議報告書等を踏まえ2014年4月以降に70歳になる者については段階的に法的負担が2割となるとされた。

第4節 高齢者虐待防止法

法成立の背景、法の枠組みと特徴、対応の実際を学ぶ。高齢者虐待の定義や内容を理解しよう。虐待には、施設での虐待と居宅での虐待があげられる。虐待には、虐待対応支援計画を作成して支援を行う。具体的な対応の仕方については、フローチャートで確認しよう。

第5節 その他の関係法規

①バリアフリー新法、②居住の安定確保に関する法律、③権利擁護と成年後見制度、④社会参加と生涯学習を学ぶ。

第5章 介護保険制度の基本的枠組み

この章のポイント

多岐にわたる介護保険制度全般の基本的枠組みを理解することと、制度の最近の動向と今後の課題を整理する。特に、団塊の世代が全て65歳以上高齢者となる2015年、そして75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けていかに持続可能な制度としていけるのかが問われている。そのためには、現行制度の課題を明確にし、対応することが求められる。

第1節 介護保険制度の全体像

サービスの申請から利用まで、介護保険サービスの3つの区分、介護保険の財源構成が示されている。

第2節 介護保険制度の目的と理念

介護保険制度の創設の背景と流れ、目的、理念、介護保険改正の背景と方向性が本稿の内容である。制度の目的は、介護の社会化、利用契約制度への転換、保健・医療・福祉に分立していたその手続き、費用負担などの統一、サービス供給主体の多様化による競争原理の導入、ケアマネジメント導入による介護の科学化であった。制度の理念として、個人の尊厳の保持、自立した日常生活の保障、国民の共同連帯があげられる。今後の介護に関する最大の課題は、2015年の高齢者介護であり、この危機感を元に2005年介護保険が改正された。主な注目点は、予防重視型システムへの転換と地域で支える介護である。このために、地域包括支援センターと地域密着型サービスが創設された。また、施設給付の見直しが行われ、居住費・食費の自己負担が導入された。地域包括ケアシステムの確立を内容とした2011年、2014年改正の基本的な方向性と主な概要についても示されている。

第3節 保険財政

費用負担構造と財政安定化基金の説明がある。

第4節 保険者と被保険者

介護保険制度を運営する主体を保険者と呼ぶが、これは市町村および特別区とされている。ただし、運営の安定化・効率化の観点から広域連合や広域自治体も保険者となることが可能である。保険者には、定められた業務があり、これを行わなければならない。被保険者は、強制加入である。第1号被保険者と第2号被保険者に分けられるが、これは、年齢で規定されており、保険料の付加と徴収方法が異なる。また、サービス受給資格も異なる。

第5節 介護保険制度の最近の動向

介護人材の確保、介護の普遍化および、団塊の世代が後期高齢期となる2025年の高齢者介護の対応が課題としてあげられる。

第6章 介護保険制度の仕組み

この章のポイント

本章では、介護保険の制度の仕組みを学ぶ。認定のプロセス、保険給付、介護報酬の具体的内容また、介護保険事業計画の理解、地域支援事業の内容などを学ぶ。

第1節 要介護認定の仕組みとプロセス

①介護保険給付の対象者、②要介護認定のプロセスを理解する。①では要介護状態・要支援状態、②では申請、認定調査と一次判定、二次判定について及びその結果や保険料の決定などの不服に関する介護保険審査会について学ぶ。

第2節 保険給付

①介護給付等、②指定サービス等について学ぶ。①では介護給付、予防給付、市町村特別給付がある。②では、指定サービスと特例サービスについて学ぶ。

第3節 介護報酬

本節は、介護報酬の具体的な内容を学ぶ。

第4節 地域支援事業

①地域支援事業創設の背景、②地域支援事業の内容、③地域包括支援センターについて学ぶ。①では高齢者介護研究会の報告書「2015年の高齢者介護」の内容と高齢者リハビリテーション研究会による「高齢者リハビリテーションのあるべき方向」の内容を学び、これらが2005年に行われた介護保険制度改正にどのような影響を与えたかを学ぶ。②では介護予防事業、包括的支援事業、市町村の判断により実施する事業について学ぶ。③は地域包括支援センターの概略を学ぶ。

第5節 介護保険事業計画

基本指針、市町村介護保険事業計画、都道府県介護保険事業支援計画について学ぶ。

第6節 サービスの質を確保するための仕組み

①介護サービス情報の公表、②苦情への対応、③介護保険審査会について学ぶ。①では情報公開の仕組み、②では事業者自身の対応の義務、運営適正化委員会、国民健康保険団体連合会の役割について学ぶ。③は介護保険審査会の役割について学ぶ。

第7章 介護保険サービスの体系

この章のポイント

介護保険改定後、新たな介護保険サービスの体系が地域支援事業(介護予防)、予防給付(居宅・地域密着型)、介護給付(居宅・地域密着型・施設)に整理されたことを踏まえ、それぞれのサービス内容を学ぶ。

第1節 介護保険サービスにおける専門職の役割と実際

介護支援専門員の登録や資格、役割について学ぶ。また訪問介護員、介護職員、その他の専門職について学ぶ。

第2節 居宅サービス

①居宅サービス、②住宅改修サービス、③居宅介護支援について学ぶ。①では居宅サービスの具体的内容、②では住宅改修サービスと福祉用具、住宅改修の種類等について学ぶ。③では居宅介護支援の内容を学ぶ。

第3節 施設サービス

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設について学ぶ。

第4節 介護予防サービス

介護予防の考え方、②介護予防サービス、③介護予防住宅改修サービス④介護予防支援について学ぶ。①では軽度認定者の増大と生活習慣病の関連を学び、②③④では介護予防サービス内容、住宅改修、介護予防支援について具体的に学ぶ。

第5節 地域密着型サービス

地域密着型サービスの内容について学ぶ。

第8章 高齢者を支援する組織と役割

この章のポイント

高齢者の生活を支援する関連組織・機関の存在と役割を学ぶ。国・都道府県・市町村の役割の違いまた、介護保険の運営に関して保険者である市町村を重層的に支える組織として、年金保険者、医療保険者、社会保険診療報酬支払基金、国民健康保険団体連合会の役割を学ぶ。サービス提供にあたっては、民間の社会福祉法人、地域の支え合いとして社会福祉協議会・ボランティア・NPO団体など様々な専門機関・専門職と地域住民の協働を学ぶ。

第1節 行政機関の役割

①国の役割、②都道府県の役割、③市町村の役割を理解する。①では政府の役割、厚生労働省の役割を理解し、②では都道府県の役割を考える。③では介護保険の中核的な役割を担う市町村の義務について学ぶ。

第2節 指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会の役割

①指定サービス事業者の役割として、指定居宅サービス事業者、指定介護予防サービス事業者、指定居宅介護支援事業者、介護保険施設を学ぶ。②国民健康保険団体連合会の役割と介護給付費の請求・支払に仕組みを理解する。

第3節 地域包括支援センターの組織体系と役割

①地域包括支援センターの目的および設置主体、②市町村の責務、③地域包括支援センターの活動の実際、④地域包括支援センターの職員配置、⑤地域包括支援センターの運営協議会、⑥地域包括ケアと地域包括支援センターの役割を学ぶ。特に、③では、包括支援事業と指定介護予防支援、介護予防・日常生活支援総合事業を理解する。さらに、④⑤で職員配置や運営協議会等を学ぶ。

第4節 社会福祉協議会

第5節 ボランティア団体・非営利民間活動

第9章 高齢者支援の方法と実際

この章のポイント

高齢者支援の基本理念や高齢者理解の方法を確認した上で、多様な支援方法のうち、個人・家族に対する相談援助、グループ・地域を活用して相談援助を行う方法や高齢者の地域生活を支援する方法としてケアマネジメントを取り上げ、これらが高齢者支援に適応する際の留意点について学ぶ。さらに、社会福祉士による支援の実際について学ぶ。

第1節 高齢者支援の方法

①高齢者理解の方法では、高齢者の多面的なアセスメント、コミュニケーションの際に留意することを学ぶ。②個人・家族に対する相談援助では、複合喪失と相談ニーズの増大について学ぶ。③グループを活用した相談援助では、社会的存在としての高齢者と高齢者のグループを活用した相談援助の特性について学ぶ。④地域を活用した相談援助では、

コミュニティ、地域組織化と福祉組織化について学ぶ。⑤ケアマネジメントでは、意義やプロセスを学ぶ。⑥介護予防マネジメントでは、介護予防の考え方や取り組みについて学ぶ。⑦高齢者支援における留意点では、留意点とともに成年後見制度や日常生活自立支援事業の必要性を理解する。

第2節 介護保険法における連携と実際

居宅事例、「地域の見守りと介護保険制度外サービスの利用で独居高齢者の在宅生活を支えた事例」「施設を退所し居宅生活へ移行する事例」「虐待対応事例」をとおして、実際の援助技術を学ぶ。

第10章 高齢者を支援する専門職の役割と実際

この章のポイント

高齢者への支援を行う組織や機関に所属する専門職には、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、医師、看護師、栄養士、理学療法士、作業療法士、法律関係者、警察、自治体職員、民生委員などがある。これらの各専門職の存在や役割を概観し、それらの異同に着目する。その中で、社会福祉士の果たすべき役割、守るべき倫理について理解を深め、各専門職との連携や協働を効果的・効率的に進めるための方法や留意点について考える。

第1節 専門職の役割と実際

高齢者に関わる専門職について学ぶ。

第2節 専門職による協働

①チーム、②チームアプローチの展開、③チームアプローチの実際、④チームアプローチ促進の要件を学ぶ。この中では、多職種チームと利用者・家族の関係、チームとチームの連携、虐待対応支援計画と居宅サービス等との連携などを学ぶ。

第3節 専門職の倫理

社会福祉士の倫理綱領、介護支援専門員倫理綱領を学ぶ。

第11章 介護の概念や対象

この章のポイント

加齢に伴って生活を自分で支えられなくなっていった介護対象の人々や生活のどの部分が自立できない場合に「介護」状態となるのかなど、「介護対象」について理解を深めるとともに、介護場面における人権擁護の課題を考察する。

第1節 介護の概念と範囲

①社会福祉士が介護の理解を必要とする理由、②介護の概念と範囲、③介護の実践構造について学ぶ。①では地域包括ケアシステムを推進するために求められることについて学ぶ。②では法制度の位置づけ、求められる介護福祉士像、介護の定義、介護の範囲、隣接領域との関係について学ぶ。③では介護実践の特性、介護実践の構造を学ぶ。

第2節 介護の理念

①介護の専門性を支える理念と価値、②目的価値、③手段的価値、④専門職倫理を学ぶ。

第3節 介護の対象

①介護の対象者、②利用者の理解、③生活の理解と家族支援、④介護活動の場の理解を学ぶ。①では介護の対象者について生活面、心理面、社会面、身体面から分析し要介護高齢者が陥りやすい状態を示す。②では要介護高齢者の全人的理解や利用者ニーズ、ICFの視点からの理解する方法を学ぶ。③では生活理解の必要性・捉え方、要介護状態と生活行為の関係について、家族の理解があげられる。④では施設や在宅の特色別の介護を学ぶ。

第4節 介護予防の概念

①介護保険制度改正と介護予防という概念、②介護予防ケアマネジメントについて学ぶ。①では介護保険制度改正の理由や基本的な考え方、具体的な見直し事項について学ぶ。②では介護予防ケアマネジメントの基本的な考え方と利用までの流れを学ぶ。

第12章 介護過程

この章のポイント

介護という行為のプロセスを理解する。人生を生きる本人がどういう介護を望むか要介護者本人の自立への希望が最大限尊重され、そのための支援をどのように行うかを大きな課題として捉えることを学ぶ。加えて、介護予防についても学ぶ。

第1節 介護過程の概要

①介護過程と社会福祉士の関係、②介護計画を学ぶ。①ではケアプランと介護計画の関係性や社会福祉士が介護過程を理解する必要性を学ぶ。②では様々な場における介護サービス計画と介護計画、介護過程という思考過程の流れ、介護計画に基づいて介護を展開する目的についても学ぶ。

第2節 介護過程の展開技法

①介護過程におけるアセスメントの視点と対象、②介護過程の元となる事実と情報、③介護過程の展開の実際を学ぶ。

第13章 介護各論①

この章のポイント

誰でも必要となる基本的な介護技術を学ぶ。

第1節 自立に向けた介護

①自立支援としての介護の展開、②自立した日常生活、③高齢者の理解と自立支援、④自立を支える介護、阻害する介護についても学ぶ。

第2節 家事における自立支援

家事における自立支援について事例に基づいて考察する。

第3節 身支度・移動・睡眠の介護、

第4節 食事・口腔衛生の介護、

第5節 入浴・清潔・排泄の介護を概観する。

第14章 介護各論②

この章のポイント

認知症の介護、終末期の介護、居住環境の整備を学ぶ。

第1節 認知症ケア

第2節 終末期ケア

第3節 住環境について概観する。

終章 近未来の高齢者福祉課題

この章のポイント

今後の高齢者福祉施策やサービス内容について、比較的容易に予測されることを整理し、課題への対応を考える。近未来の高齢者が当面する課題や求められる高齢者の社会活動システム、高齢者を対象とした就労・学習支援システムの必要性、予防システムなど投資的社会システムとしての高齢者福祉の推進について考える素材が提供されている。